

## 第VII章 総括

良田中道遺跡では、平成23年度から平成25年度の3ヶ年にわたる発掘調査によって、縄文時代から中世に至る遺構・遺物を確認した。ここでは発掘調査の成果および自然科学分析の成果等を整理して遺跡の変遷をまとめるとともに、特筆すべき遺物についても言及して総括したい。

### 第1節 遺跡の変遷

#### 縄文時代

鳥取西道路の改築に伴う発掘調査によって、湖山池南岸の縄文時代遺跡についての新たな発見が相次いでいる。良田地区の丘陵を一つ挟んだ東側に位置する高住平田遺跡では、自然河川内からの出土であるが、縄文時代前期中葉の北白川下層式土器が確認されており（中尾2013）、またさらに丘陵を越えて東に位置する東桂見遺跡でも縄文時代前期末の土器が出土している（馬路2014）。

良田中道遺跡では、第10a面の1130流路および調査区周囲に設けた排水溝内ではあるが、縄文時代前期末と思われる土器片が出土している。また、10層上面においては縄文時代中期の土器が一定量出土しており、少なくとも縄文時代中期頃には周辺で人々が活動していたことが想定される。

湖山池周辺では、縄文時代前期において縄文海進の影響で海拔2m近くまで海面が上昇し、縄文時代中期に徐々に海退が始まって湖畔の陸化が進み、縄文時代後期にはさらに海退が進んで泥層や泥炭層が広がるといった様相が指摘されている（村田2012）。こうした状況を鑑みると、第7-1a～10a面で縄文時代中期から後期にかけての土器が比較的まとまって出土したことは、縄文海退による陸化によって遺跡内での人々の活動が活発化したことの表れであろう。また、第7-1a面で見られた泥炭層が遺跡外にも広範におよぶことは、湖山池周辺の一連の環境変化を如実に物語るものであり、その時期を裏付ける遺物がこのたびの調査で出土している点は成果といえる。

第5a面（縄文時代晚期）で遺跡内は大きく堆積環境を変えることになる。5a層以下、少なくとも9層以降においては、調査区内を縱走する流路が埋積と氾濫・走向の変更を繰り返していたが、第5a面の段階ではそれらの河道が埋まって低地となる。この面では遺構、遺物が希薄ではあるが、その後の景観および土地利用の変化をうかがうことができる。

#### 弥生時代

続く弥生時代においても、調査区内で検出したのは流路が大半であるが、そうした中で、1区では木製構造物を伴う溝（1032溝）を検出した。溝および木製構造物の一部を検出したのみであり、全貌の把握はできなかったが、木製構造物について2段階の変遷を確認することができた。いずれの段階にあっても南北に流れる溝の西岸部分を護岸する施設である。ただし構造としては、旧段階である木製構造物2では細長い木材や樹皮、小枝や丸杭を使用しているのに対し、新段階である木製構造物1では矢板と横板を組み合わせるという違いがある。両段階について、遺物による時期差の特定はできないが、同様の構造物が検出されている高住井手添遺跡などでは、旧段階の構造は弥生時代中期頃、新段階の構造は弥生時代後期頃の事例がある。

また、2区の39流路内で板材等が一列に敷かれた木道遺構が検出されたことからも、弥生時代において徐々に遺跡内に人の手が加えられていったことが明らかとなった。残念ながら水田耕作を裏付

けるプラントオバールの検出には至らなかったが、隣接する良田平田遺跡では石庖丁や木庖丁が出土していることから、遺跡周辺で弥生時代に水田耕作が行われていた可能性は高い。

なお、平成23年度調査において14盛土状遺構を検出し、道路状の遺構の可能性を検討したが、2区での調査では道路状の延長を確認することはできなかった。結論としては、粒径が揃わず、軟疊等を含んで固く締まった部分であり、粗い氾濫堆積層が凸状に盛り上がった上部、あるいはこれを搅拌したものとした。

#### 古墳時代

続く古墳時代前期初頭には55溝・59木組みなどの溝および構造物が作られ、遺跡内では本格的な土地開発がなされたと考えられる。59木組みからは農具や建築部材が出土したことから、遺跡内および周辺における水田開発や集落の存在を弥生時代より明確に指摘できる。特に55溝や65溝は人工的に開削された可能性が高く、のちの時代に続く耕地区画の基礎がこの頃に出来上がったものと推測される。

#### 古代～中世

基本層序の2層ではプラントオバールの検出は見られなかったものの、水田が営まれていたと考えてよいと思われる。近世から現代の圃場整備によって削平された部分が多く、また重機による踏込のために畦畔の認識が困難な部分もあった。しかしながら、平成23年度調査区の1～5溝、2区の21～29溝、1区の1001・1002溝は水路と考えられ、耕地を細かく区画する畦畔や耕地段差も検出した。この時期には調査区内で大きな流路跡は検出されておらず、遺跡周辺の土地は水田と水路として管理されていたものと推測される。

## 第2節 良田中道遺跡出土の泥除付直柄平鋤について

鳥取県内において、弥生時代から古墳時代にかけて木製鋤および泥除の出土例は青谷上寺地遺跡をはじめとして複数確認されているが、それらが結合した状態で出土した例は当遺跡のはかは米子市の大久美遺跡出土例（弥生時代中～後期）のみであり、貴重な事例といえる。まずは当遺跡で出土した泥除付直柄平鋤の形態についてまとめ、鳥取県内での弥生時代から古墳時代にかけての木製農具についてまとめている『青谷上寺地遺跡出土品調査研究報告8木製農工具・漁撈具（以下、木製農工具・漁撈具）』（君嶋編2012）とともに、当遺跡出土例の位置づけを考えたい。

良田中道遺跡出土の泥除付直柄平鋤は、59木組み（55流路）内で複数の木製品・自然木で構成された木製構造物の中から出土した。同遺構内からは板型穿孔式田下駄や曲柄平鋤と考えられるものも出土しており、ほぼ同時期に廃棄または（木製構造物の一部として）二次利用されたものと推測される。遺構内からは甕口縁部片が出土しており、古墳時代前期初頭の時期が与えられる。

出土した直柄平鋤は「木製農工具・漁撈具」の分類ではB類に相当するものと考えられるが、梢円形に近い形状や加工などや異なる部分があり、また柄孔両脇に穿孔を持つ特徴はいわゆる「北陸型」に通じるものがある。ひとまずB類系統として整理しておきたい。泥除は同じく同書のB類に相当する。形態や木目が横方向に入る特徴は異なるが、泥除も平鋤とともに北陸型に共通する柄孔両脇の穿孔という特徴を備えており、当該時期における山陰と北陸を結ぶ資料として重要である。

『木製農工具・漁撈具』では泥除B類を現状では山陰地方特有のものと推定しており、当遺跡出土例もそれを裏付ける資料の一つであるといえる。ただし、泥除が装着された状態で出土した例は、山

陰地方では鳥取県米子市の目久美遺跡出土例（弥生時代中～後期）のみで、鍬は直柄平鍬D類に相当しており、当遺跡出土例と鍬の形態は異なる。このことから、直柄平鍬・泥除の組合せやそれぞれの形態変化、地域差などを論じるには今後さらなる出土例が必要である。

### 第3節 今後の課題

良田中道遺跡は、縄文時代前期末から中世にかけての遺跡であり、調査にあたっては特に弥生時代以降の水田開発に伴う土地開発の痕跡に留意して実施したところである。調査は圃場整備時の削平や重機の踏み込みによる搅乱によって精確な調査が困難な部分もあったが、概ね前節までの調査成果にまとめることができる。

今後の課題としては大きく2つの点が挙げられる。1つは周辺地域も含めた縄文時代の様相の解明である。当遺跡で出土した縄文土器の大半は、流路河床疊中および流路周辺の微高地上で確認されており、上流側ないし東側丘陵に縄文時代の集落もしくは生活痕跡が存在する可能性が指摘できる。ただし、狹隘な谷筋が幾つも合流する地点であり、推定範囲が広範囲となることから、遺跡本体の所在箇所を特定するには、つぶさな資料の積み上げが必要であろう。

もう1点は良田平田遺跡との関係性の解明である。良田平田遺跡では木簡や墨書き土器、硯、腰帶具、木製祭祀具などの官衙関連遺物の存在や手工業生産を示す遺物、建物跡が確認されており、遺跡の位置としては湖山池南岸であって、現在指摘されている2つの古代山陰道ルート双方の中間にあたる。また、水運を示す墨書き土器が見られることからも水陸交通の要所に立地していたと推測されている（高尾2014）。良田中道遺跡の所在地の字名である「中道」が示す通り、近年まで良田中道遺跡が所在する谷のはば中央に、良田集落から三山口集落に抜ける間道が存在していた。三山口には古代山陰道比定地ルートのうちの一方が東西に通っており、当地に古代の主要幹道とアクセスする支道が繋がっていた可能性がある。あるいは当遺跡と良田平田遺跡とをつなぐ道が存在した可能性もある。良田中道遺跡が位置する谷筋は圃場整備による削平のため古代以降の遺構面認識が困難な部分もあるが、こうした遺跡周辺の様相が次第に把握されてきたことで、上記課題の解明に向かって、今後調査研究が進展することを期待したい。

#### 参考文献

- 石川ゆずは 2008『北陸』『季刊考古学 第104号 弥生・古墳時代の木製農具』雄山閣
- 上原真人編 1993『木器集成図録 近畿原始篇』奈良文化財研究所
- 君船俊行編 2012『青谷上寺地遺跡出土品調査研究報告8 木製農工具・漁撈具』鳥取県埋蔵文化財センター
- 高尾浩司編 2014『良田平田遺跡』鳥取県教育委員会
- 中尾智行編 2013『高住平田遺跡II』鳥取県教育委員会
- 舩上 幸 2010『木製品から考える地域社会』雄山閣
- 馬路晃洋編 2014『東桂見遺跡』鳥取県教育委員会
- 村田泰輔 2012『鳥取平野の形成過程と人間活動』『調査研究紀要4』鳥取県埋蔵文化財センター

表 20 土器観察表

器物 No.	牌印 PL	調査区	遺構 層位	器種 部位	寸法 (cm) 口縫 (中復元) 器底 (中復元) 底縫 (中復元)	調査・文様	胎土	色調	地成	備考
1 15 22	H23	祝丸	土器器 底 口縫部	単 166 △ 47 —	馬面：ナデ 内面：ナデ	黒	外：灰褐色 内：灰色～灰褐色	良好		
3 17 52	H23	14番土状遺構	出生上器 裏	— 単 7.8	外縫：ナデ、口縫部延引、体部上半部縫 内縫：ナデ、底縫部調整	黒	内外面とも橙色	良好		
4 20 52	H23	14番下側	圓土器 浅縫	単 19.4 △ 8.6 —	馬面：ケズリ状調整 内縫：ケズリ状調整	黒	外：灰褐色～灰褐色 内：灰褐色	良好		
5 30 52	2区	21 游	土器器 底 口縫部	単 20.0 △ 7.8 —	馬面：ナデ 内縫：ナデ？	黒	外：灰褐色～灰褐色 内：白色	不良	表面に塵土中の鉄分、 錆粉が付着。	
6 30 52	2区	21 游	直底器 底	— △ 4.6	外縫：回転ナデ、回転ヘラケグリ	黒	内外面とも黄褐色	良好		
7 31 53	2区	1層	瓦質土器 底 口縫部	単 28.2 △ 4.1 —	馬面：ナデ 内縫：ナデ	黒	外：黑色 内：灰色～灰褐色	良好	外面スス付着	
8 31 53	2区	1層	土器器 底 口縫部	単 4.6 △ 1.2	外縫：回転ナデ、底縫回転条切り	黒	外：灰褐色 内：灰褐色	良好		
16 35 53	2区	24 游	土器器 底 小縫	単 3.6 △ 1.6 —	馬面：ナデ 内縫：ナデ	黒	外：灰褐色、黃褐色～灰褐色 内：灰白色、灰褐色、灰褐色～灰褐色	良好	外面剥離	
17 35 53	2区	24 游	土器器 底 小縫	単 5.4 △ 1.2 19	外縫：回転ナデ、底縫回転条切り 内縫：回転ナデ	黒	内外面ともに灰褐色	良好		
21 34	2区	2層以下	出生上器 裏 口縫部	単 12.6 △ 7.4 —	馬面：ナデ、ハラメ 内縫：ナデ？	黒	外：灰褐色～灰褐色 内：灰褐色	良好		
22 36 52	2区	22a 層	出生上器 裏 口縫部	単 16.5 △ 4.1 —	馬面：ナデ、口縫部に3条の凹縫 内縫：ナデ	やや黒	内外面ともに灰褐色	中や 不良	外面スス付着	
23 36 53	2区	22a 层	土器器 底 口縫部	単 17.0 △ 2.75 —	馬面：ナデ、口縫部に3条の凹縫	黒	外：黑色～灰褐色 内：灰褐色	やや 不良	破断面を露いた初期 あり。	
24 36 54	2区	32a 层	土器器 底 口縫部	単 14.4 △ 6.85 —	馬面：ナデ、ハラメ 内縫：ナデ、ナギリ	黒	外：黑色～灰褐色 内：白色	良好		
25 36 53	2区	22 层	土器器 底 口縫部	単 14.2 △ 4.7 —	馬面：ナデ、ハラメ 内縫：ナデ、ナギリ	黒	外：灰褐色 内：灰白色	良好	外面スス付着	
26 36 53	2区	2层	土器器 底	単 14.3 △ 17.5 —	馬面：ナデ、ハラメ 内縫：ナデ、ケズリ	黒	外：白色～灰褐色 内：灰白色	中や 不良		
27 36 53	2区	23a 层以下	土器器 底 口縫部	単 14.3 △ 7.1 —	馬面：ナデ、ハラメ 内縫：ナデ、ナギリ	黒	外：黑色～灰褐色、灰褐色～灰褐色 内：灰褐色	不良		
28 36 54	2区	2層以下	土器器 高耳	単 20.6 △ 8.4 —	馬面：ナデ、ハラメ 内縫：ナギリ、ハラメ	黒	外：黑色、黃褐色、灰褐色 内：白色、黃褐色、灰褐色	良好		
29 36 53	2区	2层	土器器 高耳 高耳	単 10.8 △ 8.1 —	馬面：ナデ 内縫：ナギリ、ナデ	黒	外：灰褐色 内：灰白色～明褐色	中や 不良		
30 36 54	2区	2层	直底器 底	単 6.3 △ 5.7 —	内外面とも回転ナデ	黒	内外面とも灰白色	良好		
31 36 53	2区	2层	直底器 底 口縫部	単 13.4 △ 2.6 —	外縫：回転ナデ 内縫：回転ナデ	黒	内外面とも灰白色～褐色	良好		
32 36 54	2区	2层	直底器 底	単 7.8 △ 3.3 —	外縫：回転ナデ、ナデ 内縫：回転ナデ	黒	外：灰褐色～明褐色 内：灰白色～明褐色	中や 不良		
33 36 54	2区	2层	土器器 底	単 11.6 △ 2.5 △ 8.0	馬面：ナデ、底縫ケズリ 内縫：ナデ	黒	内外面ともに灰褐色	良好	内外面とも赤褐色	
34 36 54	2区	2层	瓦質土器 底 口縫部	単 19.2 △ 3.8 —	馬面：ナデ 内縫：ナデ	やや黒	外：褐色 内：白色	中や 良好	外面スス付着	
35 41 55	2区	31 游 下層	土器器 底	単 15.3 △ 10.6 —	外縫：不明 内縫：ナデ、ナギリ	黒	外：褐色、暗褐色 内：白色、明褐色	良好		
36 41 54	2区	31 游 下層 (複層)	土器器 底 口縫部	単 10.5 △ 6.9 —	馬面：ナデ、ハラメ 内縫：ナデ、ナギリ	黒	内外面とも灰褐色	中や 良好	外面上部無	
37 41 56	2区	40 游	土器器 底	単 14.5 △ 26.5 —	馬面：ナギリ、ナデ 内縫：ナデ、ナギリ	やや黒	外：深褐色 内：灰褐色	中や 良好	外面上部無	
38 41 54	2区	31 游 下層 (複層)	土器器 底 口縫部	単 11.1 △ 3.3 —	内外面ともナデ	やや黒	内外面ともに灰褐色	不良		
39 41 55	2区	31 游 上層	土器器 底	単 9.2 △ 2.8 —	内外面ともナデ	黒	外：灰白色、赤褐色、暗褐色 内：灰白色、暗褐色、暗褐色	不良	外面スス付着。 内外面とも赤褐色。	
40 41 55	2区	31 游	土器器 底 口縫部	単 18.7 △ 7.2 —	馬面：口縫部ナデ、底縫ハメ縫ナデ 内縫：口縫部ナデ、底縫ハメ縫ナデ、底縫ナ ギリ	やや黒	内外面とも灰褐色～褐色 内：褐色	中や 良好		
41 41 55	2区	33 游 下層 (複層)	土器器 底 口縫部	単 14.8 △ 4.05 —	外縫：口縫部ナデ、口縫ハメ縫ナデ 内縫：口縫部ナデ、口縫ハメ縫ナデ、底縫ナ ギリ	黒	外：灰褐色 内：褐色	中や 良好		

番号 No.	種別 PL	測定区 測定区	基準 部位	器種 部位	寸法(cm) 口幅(中段部) 器高(△高さ) 底径(中段部)	調整・支様	釉土	色調	機械	参考
42	41 55	2区	33酒	土加器 裏 口縁部	Φ 21.6 △ 4.4	外面：ハケメナナデ 内面：底部エビオサズ、底部ケズリ	やや粗	内外面とも黒～灰青褐色	やや 不良	
43	41 54	2区	33酒 下層	胎生上器 表または裏 口縁部	△ 8.0 △ 5.3	外面：ハケメ 内面：底部エビオサズ、底部ケズリ	やや粗	外：明黄褐色 内：底色	やや 良好	
44	50 55	2区	35酒 砂輪刷	土加器 裏 口縁部	Φ 14.6 △ 5.2 —	外面：ナデ 内面：口縁部ナナデ、底部ケズリ	審	外：明黄褐色 内：棕褐色	良好	
45	50 55	2区	59木瓶	土加器 裏 口縁部	Φ 15.0 △ 5.9 —	外面：ナデ 内面：ナデ	審	外：灰白～赤褐色 内：灰白～赤褐色	やや 不良	
46	53 56	2区	65酒 砂輪刷	胎生上器 表 口縁部	Φ 16.0 △ 4.6	外面：ナデ、口縁部に2条の凹輪 内面：ナデ	やや粗	内外面ともに赤い黄褐色	良好	
47	53 56	2区	65酒 砂輪刷	土加器 裏 口縁部	Φ 14.9 △ 6.0 —	外面：ナデ、ハケメ 内面：ナデ、ケズリ	審	内外面ともに赤い黄褐色	良好	
48	53 56	2区	65酒 下層	土加器 裏 口縁部	Φ 14.6 △ 11.7 —	外面：ナデ、ハケメ 内面：ナデ、ケズリ	審	外：灰白色～赤褐色 内：灰白色～浅黄褐色	やや 良好	外画エス付着
49	53 56	2区	65酒 下層	胎生上器 表 口縁部	Φ 29.6 △ 7.5	外面：ナデ 内面：ナデ、ケズリ	審	外：灰白色～赤褐色 内：白色	やや 不良	
50	53 56	3区	65酒 砂輪刷	胎生上器 表 口縁部	Φ 17.1 △ 5.6 —	外面：ナガキ、ナデ 内面：ナガキ	審	内外面とも赤褐色、赤灰色、浅黄褐色 色	やや 良好	
51	53 56	2区	65酒 砂輪刷	土加器 裏 口縁部	Φ 13.8 △ 3.3 —	外面：ナナデ 内面：ナナデ	審	外：浅黄～黑色 内：灰白色～深褐色	良好	
52	53 56	2区	65酒 下層	胎生上器 表または裏 口縁部	△ 7.0 △ 9.2	外面：不明 内面：底部エビオサズ、底部ケズリ	審	外：明黄色～黑色 内：棕色	やや 不良	
53	53 56	2区	65酒 【ニチュア】	胎生上器 表 口縁部	4.8 △ 4.0 —	外面：ナギキ 内面：ナデ	審	内外面とも浅黄色	良好	
54	54 57	2区	92土壺	土加器 裏 口縁部	Φ 15.0 △ 5.8 —	外面：ナデ 内面：ナデ	審	外：第一赤褐色 内：灰褐色	良好	
55	54 57	2区	56酒	胎生上器 表または裏 口縁部	5.0 △ 7.2	外面：ナゼ 内面：ナゼ	審	外：灰褐色 内：暗褐色	やや 不良	
56	59 57	2区	39泥罐	胎生上器 表または裏 口縁部	△ 1.7	外面：ナデ 内面：底部ナナデ、底部コビオサズ、底部ケズリ	審	外：明黄褐色 内：に赤い黄褐色	やや 不良	
57	60 57	2区	65酒	胎生上器 表 口縁部	△ 4.5 △ 6.2	外面：ナデ 内面：ナデ	やや粗	外：灰褐色 内：に赤い黄褐色	やや 不良	
58	65 57	2区	65酒 砂輪刷	胎生上器 表 口縁部	Φ 17.4 △ 7.2	外面：ナデ、ハケメ 内面：口縁部ナナデ、底部コビオサズ、底部ケズリ	審	外：灰白～明黄褐色 内：灰白～浅黄褐色	良好	
59	65 57	2区	70落込み	胎生上器 表 口縁部	△ 4.4	外面：ナデメ、ナデ 内面：ナデ	やや粗	外：稍一黑色 内：明黄褐色	やや 良好	
60	69 58	2区	39泥罐 砂輪刷	胎生上器 表 手付裏	Φ 22.4 △ 10.6	外面：ナデメ、ナデ 内面：ナデ	粗	外：灰白～浅黄色 内：浅黄	やや 不良	外面に把手あり。内 面側面手すき用無 り
61	69 58	2区	39泥罐 鉢	陶文上器 表 口縁部	△ 4.3	外面：ナデ 内面：ナデ、口縁部 黒・削目	審	外：に赤い程～に赤い黄褐色 内：に赤い程～黑色	やや 不良	
62	69 58	2区	39泥罐 底下層刷	陶文上器 底 口縁部	△ 4.8	外面：ナデ、削光、凸輪文、底付粗 内面：ナデ	やや粗	外：に赤い程～暗灰褐色 内：暗灰褐色	やや 不良	
63	71 58	2区	91酒	陶文上器 表 口縁部	△ 5.5 —	外面：陶文地に光輪文、削目粗 内面：ナデ	やや粗	外：灰白色～灰褐色 内：白色	やや 不良	
64	75 58	2区	45泥罐 砂輪刷	陶文上器 底 口縁部	△ 4.4	外面：ナデ 内面：ナデ	審	外：灰白色～黑色 内：灰白色～に赤い黄褐色	やや 良好	
65	75 58	2区	45泥罐 砂輪刷	陶文上器 底 口縁部	△ 6.2	外面：ナナデ 内面：ナナデ	審	内外面ともに赤い黄褐色	良好	
66	75 58	2区	45泥罐 砂輪刷	陶文上器 表	Φ 24.6 △ 10.6 —	外面：ナゼリ共調性 内面：ナデ	審	外：黒褐色～に赤い黄褐色 内：灰褐色	やや 不良	外画エス付着
67	75 58	2区	45泥罐 砂輪刷	陶文上器 深窓 口縁部	△ 6.8	外面：ナガキ 内面：ナデ	粗	内外面とも灰青褐色	やや 良好	
68	75 58	2区	45泥罐 砂輪刷	陶文上器 表 鋼部	△ 6.1	外面：ナデ、沈綴文 内面：ナデ	審	外：程～浅黄褐色 内：灰褐色～黑色	やや 不良	
69	75 58	2区	45泥罐 砂輪刷	陶文上器 表 鋼部	△ 3.3 △ 6.0	外面：ナデ 内面：ナデ	やや粗	外：に赤い黄褐色 内：褐色	良好	
70	77 59	2区	51蟹江	陶文上器 深窓 口縁部	△ 3.1	外面：陶文地に2条の沈綴文 内面：ナデ	やや粗	外：黑色 内：に赤い黄褐色	やや 不良	
71	77 59	2区	65瓶	陶文上器 底 口縁部	△ 4.2	外面：陶文地に刻文、細密条纹 内面：ナデ	やや粗	内外面とも深灰褐色	やや 不良	

番号 No.	原國 PL.	調査区	遺構 層位	器種 部位	寸法 (cm) 口径 (中腹)元 器高 (中腹)元 底径 (底復)	測量・支擡	出土	色調	集成	備考
72	77 38	2区	66層	陶文上器 深鉢 口縁部	△6.2 —	外面:ナデ 内面:ナデ	實	外/灰白~黃褐色 内/灰白~灰黃褐色	やや 不良	
73	77 39	2区	6層	陶文上器 深鉢 口縁部	△1.9 △10.3	外面:不明 内面:ナデ	實	外/灰白~灰褐色 内/灰白~褐灰色	やや 良好	底部に板状の汚染
74	77 39	2区	6層	陶文上器 深鉢 口縁部	△2.5 △5.5	外面:ナデ 内面:ナデ	實	外/灰白~灰褐色 内/灰白~黃褐色	やや 不良	
75	80 39	2区	93表層 砂礫層	陶文上器 深鉢 口縁部	△4.1 —	外面:ナデ 内面:ナデ	やや虚	内外面とも灰褐色	やや 良好	
76	80 39	2区	95表 砂礫層	陶文上器 深鉢 口縁部	△7.4 —	外面:ナデ 内面:ナデ	やや虚	内外面とも灰褐色	やや 良好	
77	80 39	2区	98表 砂礫層	陶文上器 深鉢 口縁部	△4.1 —	外面:細縦条紋 内面:細縦条紋	輕	内外面ともに灰褐色~に赤い黄褐色	やや 不良	
78	80 39	2区	98表 砂礫層	陶文上器 深鉢 口縁部	△5.1 —	外面:ナズリ状調整 内面:ナデ	やや虚	外/灰白~黃褐色 内/灰白~黑褐色	やや 良好	外表面欠損
79	80 39	2区	99表層 砂礫層	陶文上器片	△2.2 —	外面:ナデ 内面:ナデ	輕	外/灰白~黃褐色 内/灰白~黃褐色	不良	
80	80 39	2区	93表層 砂礫層	陶文上器 底部	△3.5 △7.5	外面:ナデ 内面:ナデ	實	内外面とも灰褐色	良好	底部にわずか灰褐色
81	83 39	2区	99表	陶文上器 深鉢 口縁部	△2.75 —	外面:陶文 (早胎L1)、ナデ 内面:ナデ	實	外/灰黃褐色~に赤い黃褐色 内/灰白~黃褐色	やや 不良	外表面欠損 内下面化物付着
82	84 60	2区	7層	陶文上器 深鉢 口縁部	△5.6 —	外面:ナデ 内面:ナデ	輕	外/灰黃褐色 内/灰黃褐色~灰褐色	やや 不良	
83	84 60	2区	7層	陶文上器 深鉢 口縁部	△4.0 —	外面:ナデ 内面:ナデ	やや虚	外/灰白色 内/灰白~黃褐色	良好	
84	84 60	2区	7層	陶文上器 深鉢 口縁部	△5.6 —	外面:ナズリ状調整 内面:ナデ	實	内外面とも灰褐色	やや 良好	
85	84 60	2区	7.5層	陶文上器 深鉢 口縁部	△7.8 —	外面:ナズリ状調整 内面:ナデ	實	外/灰黃褐色 内/灰褐色	やや 不良	外表面欠損
86	84 60	2区	7層	陶文上器 深鉢 口縁部	△5.4 —	外面:ナデ、陶文 内面:ナデ	實	外/灰黃褐色~に赤い黃褐色 内/灰黃褐色~黑色	やや 不良	
87	84 60	2区	7層	陶文上器 深鉢 口縁部	△8.65 —	外面:ナデ 内面:ナデ	輕	外/灰褐色 内/黑色	不良	内面変化物付着
88	84 60	2区	7層	陶文上器 深鉢 口縁部	△2.8 —	外面:陶文に2条の化粧文 内面:ナデ	實	内外面とも灰褐色	やや 不良	
89	84 60	2区	7層	陶文上器 深鉢 口縁部	△3.2 —	外面:ナデ 内面:ナデ	實	内外面とも灰褐色	良好	
90	84 60	2区	7層	陶文上器 深鉢 口縁部	△4.2 —	外面:ナデ 内面:ナデ	やや虚	外/灰白~浅黃褐色 内/灰黃褐色~黑色	良好	内面変化物付着
91	84 60	2区	7層	陶文上器 深鉢 口縁部	△4.8 —	外面:ナデ 内面:ナデ	輕	外/灰黃褐色 内/灰白~灰褐色	やや 不良	
92	84 60	2区	7層	陶文上器 深鉢 口縁部	△2.1 △4.2	外面:ナデ 内面:ナデ	實	外/灰黃褐色 内/灰白~黑色	やや 不良	
93	84 60	2区	7層	陶文上器 深鉢 口縁部	△1.5 △5.3	外面:ナデ 内面:ナデ	實	外/灰黃褐色~灰褐色 内/灰褐色	良好	
94	84 60	2区	7.4層	陶文上器 深鉢	△1.4 △8.0	外面:ナデ、普陶文 (早胎L1) 内面:ナデ	實	外/灰黃褐色~黑色 内/灰褐色~黑色	不良	
95	87 61	2区	100表層 砂礫層	陶文上器 深鉢 口縁部	△4.8 —	外面:ナデ 内面:ナデ	實	外/ 内/	やや 不良	
96	87 61	2区	100表層 砂礫層	陶文上器 深鉢 口縁部	△4.4 —	外面:ナデ、ナデ 内面:ナデ	やや虚	外/灰黃褐色~に赤い黃褐色 内/灰黃褐色~灰褐色	やや 良好	
97	87 61	2区	100表層	陶文上器 深鉢 口縁部	△9.6 —	外面:ナデ 内面:ナデ	やや虚	内外面とも浅褐色	不良	
98	87 61	2区	100表層 砂礫層	陶文上器 深鉢 口縁部	△4.1 —	外面:ナデ 内面:ナデ	實	外/灰白~黑色 内/灰白~褐灰色	良好	
99	87 61	2区	100表層 砂礫層	陶文上器 深鉢 口縁部	△3.7 —	外面:ナズリ状調整 内面:ナズリ状調整	實	内外面とも灰白~灰褐色	やや 良好	
100	87 61	2区	100表層 砂礫層	陶文上器 深鉢 口縁部	△26.0 △16.8	外面:ナデ 内面:ナデ	實	外/浅黃褐色~黃褐色 内/灰白~黃褐色~灰褐色	やや 良好	
101	87 61	2区	100表層	陶文上器 深鉢 口縁部	△2.1 —	外面:陶文、条紋 内面:ナデ	やや虚	外/灰白色 内/灰白~黃褐色	不良	

番号 No.	標高 PL	調査区 調査区	道標 解説	器種 品目	寸法 (cm) 口径 (中腹径) 器高 (△内側) 底径 (中腹径)	調性・支柱	樹木	色調	機成	備考
102 87 61	2区	100 流路 砂礫層	陶文土器片	△4.5 —	外面: 磁文 (早原式) 内面: ナデ	審	外 / にい・黄褐色～淡褐色 内 / にい・黄褐色	やや 良好		
103 87 61	2区	100 流路 砂礫層	陶文土器片	△4.2 —	外面: ナデ, 沈磁文 内面: ナデ	審	外 / にい・黄褐色 内 / 黄褐色	小良	内面化物付着	
104 87 61	2区	100 流路 砂礫層	陶文土器片	△3.5 —	外面: ナデ, 沈磁文 内面: ナデ	やや粗	外 / にい・黄褐色 内 / 黄褐色	やや 不良		
105 87 61	2区	100 流路 シート層 (上M)	陶文土器 漆跡	Φ 320 △240 —	外面: ケズリ状溝型 内面: ケズリ状溝型	粗	外 / 淡黄～黄色 内 / 黄褐色～黑色	やや 良好	外側側壁上半部及び 内側側壁下部に炭化物付着	
106 87 61	2区	100 流路 砂礫層	陶文土器 漆跡	Φ 240 △175 —	外面: ケズリ状溝型 内面: ナデ	やや粗	外 / にい・黄褐色 内 / にい・黄褐色～黑色	やや 良好	外側エッジ付着	
107 87 61	2区	100 流路 砂礫層	陶文土器 漆跡	△2.8 Φ 6.0	外面: ナデ? 内面: ナデ?	やや審	外 / 明赤褐色 内 / 褐色	やや 不良		
108 87 62	2区	101 流路 砂礫層	陶文土器 漆跡	△4.8 —	外面: ナデ? 内面: ナデ?	やや審	外 / 淡黄褐色～にい・黄褐色 内 / にい・黄褐色	やや 良好		
109 89 62	2区	101 流 漆跡	陶文土器 漆跡	Φ 28.3 △180 —	外面: ケズリ状溝型 内面: ケズリ状溝型	審	外 / 淡赤褐色～黑色 内 / 黑褐色	良好		
110 89 63	2区	101 流 上層 (漆跡層)	陶文土器 漆跡	△4.3 —	外面: 条痕 内面: 条痕	審	外 / 淡白～黑色 内 / 黑褐色	良好		
111 89 63	2区	101 流	陶文土器 漆跡	△2.0 Φ 6.4	外面: ナデ, ケズリ状溝型 内面: ナデ	審	外 / 黄褐色 内 / 黑褐色	やや 良好		
112 89 63	2区	100 上流	陶文土器 漆跡	△2.9 —	外面: ケズリ状溝型 内面: ナデ	審	外 / 黄褐色 内 / 黑褐色	良好		
113 89 62	2区	105 沈込み 100 上流	陶文土器 漆跡	Φ 368 △200 —	外面: ケズリ状溝型 内面: ケズリ状溝型, ナデ	やや粗	外 / 深赤～从白～浅黄～黑色 内 / 黑褐色～黑色	良好		
114 91 63	2区	105 沈込み	陶文土器 漆跡	Φ 17.4 △4.3 —	外面: ナデ 内面: ナデ	やや粗	外 / にい・黄褐色 内 / にい・赤褐色～にい・黄褐色	やや 不良		
115 91 63	2区	105 沈込み	陶文土器 漆跡 口縁部	△4.4 —	外面: ナデ? 國文跡に沈磁文 内面: ナガリ	審	内側面も灰褐色	やや 良好		
116 91 63	2区	105 沈込み	陶文土器 漆跡 口縁部	△3.4 —	外面: ナデ? 國文跡に沈磁文 内面: ナガリ	やや粗	外 / 灰褐色 内 / 黑褐色	やや 良好		
117 91 63	2区	105 沈込み	陶文土器 漆跡 口縁部	△7.5 —	外面: ナデ, 円形跡り有け文, 國文之 内面: ナガリ	審	外 / 黄褐色～にい・黄褐色 内 / 黑褐色～にい・黄褐色	やや 良好		
118 91 62	2区	105 沈込み	陶文土器 漆跡 銅鏡	△33.4 —	外面: ナデ 内面: ナデ	やや粗	外 / にい・黄褐色～黑色 内 / 黑褐色	やや 良好	外側側壁上半部及び 内側側壁下部に炭化物付着	
119 91 62	2区	105 沈込み	陶文土器 漆跡 銅鏡	△31.0 —	外面: ナデ 内面: ナデ	やや粗	外 / 淡青～黑色 内 / 淡青～黑色	良好	内側側壁下部に炭化物付着	
120 93 64	2区	71 沈込み	陶文土器 漆跡 口縁部	△3.4 —	外面: ナデ? 内面: ナデ?	やや粗	外 / 黄褐色～黑色 内 / 黑褐色	やや 良好		
121 93 64	2区	71 沈込み	陶文土器 漆跡 口縁部	△5.9 —	外面: 不明 内面: ナデ	審	外 / 黑褐色～黑色 内 / 黑褐色	やや 不良		
122 93 64	2区	71 沈込み	陶文土器 漆跡	Φ 245 △140 —	外面: ナデ 内面: 条痕	審	外 / にい・淡青～黑色 内 / 黑褐色	やや 良好	内面化物付着	
123 93 64	2区	71 沈込み	陶文土器 漆跡 口縁部	△4.0 —	外面: ナデ 内面: ナデ	粗	外 / 褐色 内 / 黑褐色	やや 不良	口縁部に斑点あり	
124 93 64	2区	71 沈込み 下層	陶文土器 漆跡 口縁部	△5.2 —	外面: 条痕 内面: ナデ	審	外 / 暗赤～褐色 内 / 黑褐色	良好		
125 93 64	2区	71 沈込み 下層	陶文土器 漆跡 口縁部	△4.6 —	外面: ケズリ状溝型 内面: ナデ	やや粗	内側面も灰褐色～黄褐色	やや 良好		
126 93 64	2区	71 沈込み 下層	陶文土器 漆跡	Φ 262 △113 —	外面: ナデ? 内面: ナデ	やや粗	内側面も灰褐色～黑色	やや 不良	側面下部 (底面) 有孔あり	
127 93 64	2区	71 沈込み 下層	陶文土器 漆跡?	△5.5 —	外面: ナデ? 内面: ナデ?	粗	外 / にい・黄褐色～灰褐色 内 / にい・黄褐色～灰白色	やや 不良		
128 93 64	2区	71 沈込み 下層	陶文土器 漆跡	△2.2 Φ 5.0	外面: ナデ 内面: ナデ	粗	外 / 淡青褐色～褐色 内 / にい・黄褐色～にい・黄褐色	やや 良好		
129 93 64	2区	71 沈込み 下層	陶文土器 漆跡	△3.2 Φ 5.2	外面: ナデ 内面: ナデ	やや粗	外 / 淡青褐色～灰白色 内 / 灰白色	やや 不良		
130 93 64	2区	71 沈込み 下層	陶文土器 漆跡	Φ 3.7 4.9	外面: 黃褐色不明 内面: 黃褐色不明	やや粗	外 / 淡青褐色～灰褐色 内 / 灰白色	やや 不良		
131 102 65	1区	1005 流	土器器 环	Φ 137 5.8 Φ 7.8	外面: ナデ, 乳頭状斜面赤切り 内面: ナデ	審	内側面とも灰褐色～明褐色, にい・ 黄褐色	良好		

番号 No.	原國 PL.	調査区	遺構 層位	器種 部位	寸法 (cm) 口径 (中腹)元 器底 (外腹)元 底 (復原)	測量・文様	胎土	色調	焼成	備考
132	15	1区	2a層	鉢?	Φ 26.4 △ 6.6	外面:ナデ? 内面:ニギキ	泥	内外面とも褐色~明黃褐色	良好	
133	15	1区	2a層	土器部 器底外腹	— △ 4.1 —	外面:ナデ? 内面:ナデ、ナデ	泥	内外面とも灰白~に赤い黄褐色	良好	丹福内外面に非彩色
134	15	1区	2a層	土器部 器底外腹	△ 6.6 Φ 19.3	外面:ナデ 内面:ナデ、ニギキ	泥	外/内:赤い褐色~に赤い黄褐色 内/外:赤褐色	良好	
135	65	1区	1071 10路 10便側	陶文土器 深鉢 口縁部	— △ 5.8 —	外面:ナデ 内面:ナデ	泥	内外面ともに赤い黄褐色、黒褐色	やや 良好	外側に火炎付着
136	65	1区	1071 10路 10便側	陶文土器 深鉢 口縁部	— △ 5.2 —	外面:ナデ 内面:ナデ	泥	内外面とも灰褐色、黒褐色、浅黃褐色	良好	
137	65	1区	1071 10路 10便側	陶文土器 深鉢 口縁部	Φ 15.4 △ 5.3 —	外面:沈殿文、ナデ 内面:ナデ、指揮圧痕	泥	外/灰黃褐色、褐灰色 内/灰褐色、褐褐色	良好	内外面に火炎付着
138	65	1区	1071 10路 10便側	陶文土器 深鉢 底部	— △ 3.0 Φ 11.4	外面:ナデ 内面:ナデ	泥	内外面とも灰褐色、浅黃褐色	良好	底面内に繊維状物
139	66	1区	6a層	陶文土器 浅鉢 口縁部	Φ 15.3 △ 5.8 —	外面:陶文、ナデ 内面:ナデ、指揮圧痕	泥	内外面とも灰褐色、褐褐色	良好	
140	66	1区	6b層	陶文土器 深鉢 口縁部	Φ 31.6 △ 8.3 —	外面:ナデ 内面:ナデ	泥	外/灰黃褐色、に赤い黃褐色 内/灰褐色、明黃褐色	良好	
141	66	1区	1093 (1) 10路 河床堆積	陶文土器 深鉢 口縁部	— △ 3.2 —	外面:陶文、ナデ 内面:ナデ	泥	内外面とも明褐色、に赤い黄褐色、黒褐色	良好	
142	66	1区	1093 (1) 10路 河床堆積	陶文土器 深鉢 口縁部	— △ 2.8 —	外面:陶文、粘付常滑 内面:陶文	泥	内外面ともに赤い黄褐色、黒褐色、黑色	良好	
143	66	1区	1093 (1) 10路 河床堆積	陶文土器 深鉢 体部	— △ 5.5 —	外面:沈殿文、附着陶文 内面:ナデ	泥	内外面とも灰褐色、に赤い黄褐色、褐褐色	良好	外側に火炎付着
144	66	1区	1093 (1) 10路 河床堆積	陶文土器 深鉢 口縁部	— △ 7.8 —	外面:ナデ 内面:ナデ	泥	外/褐褐色、内/赤褐色、明黃褐色	良好	
145	66	1区	1093 (1) 10路 河床堆積	陶文土器 浅鉢 鋼部	— △ 3.3 —	外面:陶文 (早削L型)、ナデ 内面:ナデ	泥	外/赤い褐色、灰褐色 内/暗褐色、灰褐色	良好	
146	66	1区	1093 (1) 10路 河床堆積	陶文土器 深鉢 底部	— △ 2.6 Φ 9.2	外面:不明 内面:不明	泥	内外面とも黒褐色、褐褐色	良好	底部に斑点あり
147	66	1区	II.19 10路 上層	陶文土器 深鉢 口縁部	— △ 3.4 —	外面:ナデ、第1付帯帶、陶文 (早削L型) 内面:ナデ、沈殿文 口縁部:陶文	泥	外/褐褐色、褐褐色 内/灰黃褐色、に赤い黄褐色	良好	外側に火炎付着
148	66	1区	中層上面	陶文土器 深鉢	Φ 19.3 △ 17.7 —	外面:陶文 内面:ナデ	やや泥	内外面とも灰褐色、灰褐色、黑色	中好	外側にスカリ痕、内側に変化物径行
149	68	1区	8層?	陶文土器 深鉢 口縁部	— △ 8.0 —	外面:柔軟 内面:柔軟	泥	外/黑、灰黃褐色 内/灰黃褐色	良好	外側に火炎付着
150	67	1区	8層	陶文土器 深鉢 口縁部	— △ 5.0 —	外面:柔軟?	中空	内外面ともに赤い黄褐色、灰褐色、褐褐色	良好	
151	67	1区	8層	陶文土器 深鉢 口縁部	— △ 3.0 —	外面:陶文 内面:ナデ	泥	内外面ともに赤い黄褐色、褐褐色、明黃褐色	良好	外側に火炎付着
152	67	1区	8層?	陶文土器 深鉢 口縁部	— △ 5.2 —	外面:ナデ? 内面:ナデ	泥	外/褐褐色、黑色 内/明黃褐色、に赤い黄褐色	良好	外側に火炎付着
153	67	1区	8層	陶文土器 鉢 口縁部	Φ 19.1 △ 3.0 —	外面:ナデ? 内面:ナデ	泥	内外面ともに赤い黄褐色、灰褐色	良好	
154	67	1区	8層	陶文土器 深鉢	— △ 7.5 —	外面:陶的陶文 (早削L型) 内面:ナデ	泥	外/灰褐色、褐褐色 内/灰褐色、灰褐色	良好	外側に火炎付着
155	67	1区	8層	陶文土器 鉢	— △ 7.5 —	外面:ナデ、陶文 (早削L型) 内面:ナデ	泥	外/灰褐色、褐褐色 内/灰褐色、灰褐色	良好	外側に火炎付着
156	68	1区	II.25 10路	陶文土器 鉢 口縁部	— △ 5.4 —	外面:陶文に沈殿文、細密条痕 内面:ナデ	泥	内外面とも黄褐色、明黃褐色、黑色	良好	
157	68	1区	II.25 10路	陶文土器 鉢 口縁部	— △ 5.7 —	外面:細密条痕 内面:ナデ	泥	内外面とも灰褐色、明黃褐色、黑色 に赤い黄褐色	良好	
158	68	1区	II.25 10路	陶文土器 鉢 口縁部	— △ 4.8 —	外面:柔軟 内面:ナデ	泥	外/黑褐色、明黃褐色 内/黑褐色、褐褐色	良好	
159	68	1区	II.25 10路	陶文土器 鉢	— △ 2.9 —	外面:陶文、粘付常滑 内面:ナデ	泥	外/褐褐色、灰褐色 内/灰褐色、褐褐色	不良	
160	68	1区	II.25 10路	陶文土器 鉢 底部	△ 1.4 —	外面:不明 内面:ナデ、粘付常滑	泥	外/浅黃、灰褐色、明黃褐色、黑色 内/黑褐色、褐褐色	良好	
161	68	1区	II.25 10路	陶文土器 鉢 底部	— △ 3.5 Φ 11.2	外面:ナデ、粘付常滑 内面:ナデ	泥	内外面とも浅黃、明黃褐色、褐褐色	良好	

番号 No.	測定 PL	測定区 測定部位	器種 品種	寸法 (cm) 口径 (中段)× 器高 (△内側)× 底径 (中段)	調査・支柱	断土	色調	機会	備考
162	178 68	1 区 9 番	陶文上部 深鉢	中 45.6 △ 45.6	外削 : 条痕 内削 : ナデ	やや板	内外面とも灰黄褐色。灰黄色、黄色	良好	内面にスス付着
163	178 69	1 区 9 番	陶文上部 深鉢 口縁部	— △ 4.5	外削 : 不明 内削 : 不明	やや板	内外面ともオーリーブ緑、明黄緑。	良好	
164	178 69	1 区 9 番	陶文上部 深鉢 口縁部	Φ 19.6 △ 2.5	外削 : 塗装剥離文、ナデ 内削 : ナデ	審	内外面とも灰黄褐色。にぶい黄緑、灰褐色	良好	
165	178 69	1 区 9 番	陶文上部 深鉢 底部	△ 1.3 Φ 6.0	外削 : ナデ?。剥離柱痕 内削 : ナデ?	審	内削面とも暗灰褐色、浅黄、灰黄色	良好	
166	181 69	1 区 1130 流路	陶文上部 深鉢 口縁部	Φ 17.8 △ 6.7	外削 : 沈殿文、點打文、ナデ 内削 : ナデ、鉄錆斑痕	審	内外面とも明黄緑、黒褐、暗灰褐色	良好	内外面にスス付着
167	181 69	1 区 1130 流路	陶文上部 深鉢 口縁部	— △ 2.6	外削 : 条痕 内削 : 条痕 口縁部 : 刮目	審	内外面とも灰黄緑、明黄緑色	良好	
168	181 69	1 区 1130 流路	陶文上部 深鉢 底部	— △ 5.3	外削 : 織文、點打文等 内削 : ナデ	審	外 / にぶい青緑、褐灰 内 / にぶい青緑、褐灰、黒褐色	良好	内外面にスス付着
169	181 69	1 区 1130 流路	陶文上部 深鉢 口縁部	Φ 27.0 △ 7.8	外削 : 条痕 内削 : ナデ	審	外 / 黒、にぶい黄褐色 内 / 明黄緑、黒褐色	良好	内外面にスス付着
170	181 69	1 区 1130 流路	陶文上部 深鉢 鋼鉢	— △ 3.0	外削 : 沈殿文 内削 : ナデ	審	内外面とも灰白、褐灰、黒褐色	やや 良好	
171	183 70	1 区 10 番	陶文上部 深鉢 口縁部	— △ 6.5	外削 : 塗装剥離文、ナデ 内削 : ナデ	やや板	内外面ともにぶい黄緑、黒褐色	良好	内外面にスス付着
172	183 70	1 区 10 番	陶文上部 深鉢 口縁部	— △ 3.1	外削 : 塗装剥離文、ナデ 内削 : ナデ	審	内外面ともにぶい黄緑、黒褐色、 黒褐色	良好	内外面にスス付着
173	183 70	1 区 10 番	陶文上部 深鉢 口縁部	— △ 2.6	外削 : 塗装剥離文、ナデ 内削 : ナデ	審	内外面ともにぶい黄緑、黒褐色、 にぶい黄褐色	良好	
174	183 70	1 区 10 番	陶文上部 深鉢 口縁部	— △ 6.2	外削 : 沈殿文、苔青文 内削 : ナデ 口縁部 : 刮目	審	内外面とも灰黃色	良好	
175	183 70	1 区 10 番	陶文上部 深鉢 口縁部	— △ 8.3	外削 : 剥離に塗装剥離文、點打文 内削 : 条痕	審	外 / 四周黒、黒褐色 内 / にぶい黄緑、黒褐色	良好	内外面にスス付着
176	183 70	1 区 10 番	陶文上部 深鉢 底部	— △ 4.1	外削 : 織文 (早原 LII) 内削 : ナデ	審	内外面とも灰黄褐色、黒褐色、明黄緑色	良好	内外面にスス付着
177	183 70	1 区 10 番	陶文上部 深鉢 口縁部	— △ 8.9	外削 : ナデ、轉突文 内削 : ナデ 口縁部 : 刮目文	やや板	内外面ともにぶい黄緑、褐褐色	良好	
178	183 70	1 区 10 番	陶文上部 深鉢 口縁部	— △ 3.5	外削 : 塗装剥離文、ナデ 内削 : ナデ	やや板	内外面とも灰黄褐色、黒褐色	良好	内外面にスス付着
179	183 70	1 区 10 番	陶文上部 深鉢 口縁部	— △ 2.8	外削 : 塗装剥離文、ナデ 内削 : ナデ	審	内外面とも灰黄褐色、黒褐色	良好	内外面にスス付着
180	183 70	1 区 10 番	陶文上部 深鉢 鋼鉢	— △ 2.9	外削 : 塗装剥離文、ナデ 内削 : ナデ	やや板	内外面とも灰黄褐色、黒褐色	良好	
181	183 70	1 区 10 番	陶文上部 深鉢 口縁部	— △ 4.0	外削 : 點打文等 内削 : ナデ、純文?	審	内外面とも浅青、灰青、黒褐色	良好	
182	183 71	1 区 10 番以下 (12 番以下)	陶文上部 深鉢	— —	外削 : 織文 内削 : ナデ	審	外 / 黒色 内 / 黑褐色、黒褐色	良好	内外面にスス付着

表 21 土製品観察表

遺物 No.	種別 PL 番号	出土 場所	調査区	遺物・部位	種別	寸法 (cm)	重量 (g)	穿孔 (mm)	鉄等	出土	色調	備考
2	15 52	10	II区	I層	土師	最大長：3.7 最大幅：1.5 最大厚：1.6	721	3	ナゲ	黒		
9	31 71	79-1	2区	I層	土師	最大長：△ 2.6 最大幅：0.9 最大厚：0.9	268	3	ナゲ	黒 に赤い黄褐色	端部欠損	
10	31 71	79-2	2区	I層	土師	最大長：1.1 最大幅：1.1 最大厚：1.0	385	4	ナゲ	黒 端～中心に褐色	端部欠損	
11	31 71	28	2区	I層	土師	最大長：1.2 最大幅：1.2 最大厚：1.1	439	3.5	ナゲ	黒	浅黃褐色	
12	31 71	29	2区	I層	土師	最大長：1.8 最大幅：1.2 最大厚：1.1	405	4	ナゲ	黒 に赤い黄褐色～に赤い紫色		
13	31 71	94	2区	I層	土師	最大長：△ 2.7 最大幅：1.5 最大厚：1.3	537	4	ナゲ	黒 に赤い黄褐色～に赤い紫色	端部欠損	
14	31 71	106	2区	I層	土師	最大長：1.8 最大幅：0.9 最大厚：0.9	195	3.5	ナゲ	黒	端部欠損	
15	31 71	133	2区	I層	土師	最大長：1.5 最大幅：1.3 最大厚：1.3	541	3.5	ナゲ	黒 赤～浅黃褐色		
18	35 71	133-1	2区	24箇	土師	最大長：1.5 最大幅：1.0 最大厚：1.2	289	3.5	ナゲ	黒		
19	35 71	133-2	2区	24箇	土師	最大長：1.5 最大幅：0.6 最大厚：0.6	990	2.5	ナゲ	黒 浅黃褐色		
20	35 71	133-3	2区	24箇	土師	最大長：1.8 最大幅：1.0 最大厚：0.9	242	3	ナゲ	黒 端部～に赤い黄褐色	端部欠損	

表 22 石器観察表

遺物 No.	種別 PL 番号	出土 場所	調査区	遺物・部位	種別	寸法 (cm)	重量 (g)	石材	備考	
S1	60 72	487	2区	3層	刮削	最大長：9.2 最大幅：6.6 最大厚：1.3	62	安山岩		
S2	69 72	792	2区	39洗面	刮削	最大長：5.8 最大幅：10.3 最大厚：1.1	42	安山岩		
S3	69 72	392	2区	39洗面	打擊石器	打擊石器未熟品	103	安山岩		
S4	73 71	385	2区	8a層	打擊石器	最大長：△ 13.3 最大幅：8.2 最大厚：1.6	89	安山岩	凸面無溝式	
S5	73 71	429	2区	不明	打擊石器	最大長：1.99 最大幅：1.42 最大厚：0.35	0.53	安山岩	凹面無溝式	
S6	84 72	639	2区	7a層	刮削	最大長：4.2 最大幅：6.3 最大厚：1.3	35	安山岩		
S7	93 72	398	2区	T1落込み	刮削	最大長：5.5 最大幅：5.5 最大厚：1.7	36	安山岩		
S8	93 72	896	2区	T1落込み	刮削	最大長：5.8 最大幅：3.7 最大厚：1.0	24	安山岩		
S9	93 72	941	2区	T1落込み	刮削	最大長：4.4 最大幅：4.7 最大厚：0.9	15	安山岩		
S10	93 72	796	2区	T1落込み	刮削	最大長：4.3 最大幅：12.5 最大厚：1.6	69	安山岩		
S11	121 72	86	1区	1030洗	石縫子?	最大長：5.6 最大幅：5.1 最大厚：0.5	15.7	サヌカイト		
S12	168 71	230	1区	1093洗面	研磨刷	打擊石器	最大長：3.1 最大幅：1.8 最大厚：0.5	17	ガラス質安山岩	平底無溝式
S13	169 72	103	1区	7a層	敲石	最大長：9.1 最大幅：7.7 最大厚：4.9	520	角セン石安山岩	各面に敲打痕あり	
S14	169 71	265	1区	7a層	打擊石器	最大長：1.6 最大幅：1.5 最大厚：0.3	69	安山岩	平底無溝式	
S15	174 71	416	1区	8a層	打擊石器	最大長：1.9 最大幅：1.1 最大厚：0.3	65	安山岩	凹面無溝式	
S16	181 72	438	1区	1130洗面	打擊石器	最大長：4.6 最大幅：3.9 最大厚：1.3	37.1	首頁	尖端	

S87	183 71	387	1区	10層		石灰石	最大長: 8.0 最大幅: 5.6 最大厚: 0.7	498		
S88	183 71	472	1区	10層		石灰石	最大長: 7.2 最大幅: 4.8 最大厚: 1.3	733		繊維のような脈あり

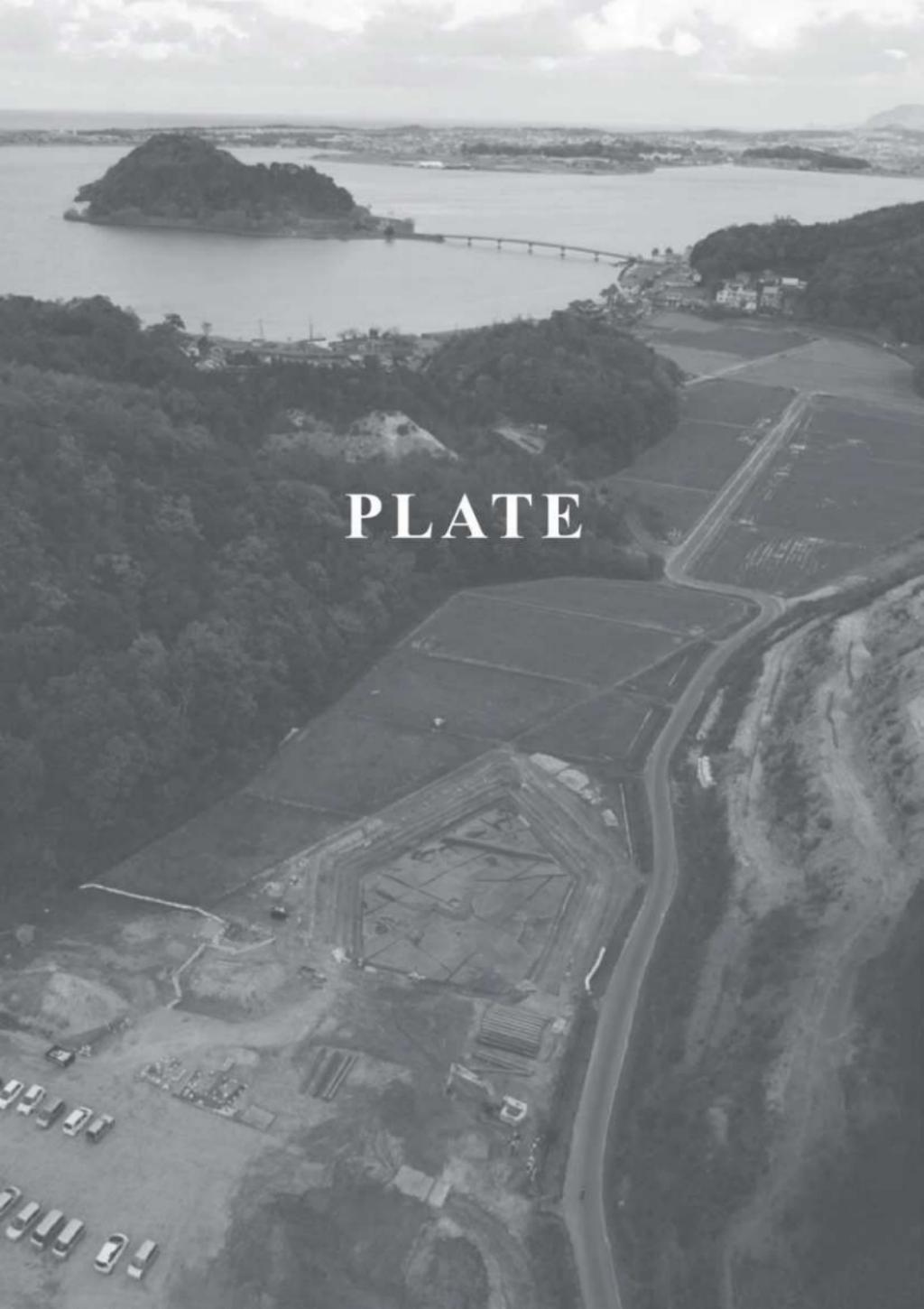
表 23 金属製品観察表

番号 No.	牌印 PL	取上 参考	調査区	造様・被穴	種別	寸法 (mm)	重量	備考	
M1	31 71	31	2 区	1 層	鋼鉄 治平寶	最大長: 24 最大幅: 235 最大厚: 0.05		青なし 初鋲 1064年	
M2	36 各種目印 2	211	2 区	22 層	鋼鉄 銅銀鉄	長: 11.9 幅: 3.6 厚: 0.9 身厚: 0.5	280g		
	71	51	2 区	不明	鋼鉄 治平寶	最大長: 1.85 最大幅: 1.8 最大厚: 0.12		青なし 初鋲 1064年	

表 24 木製品観察表

番号 No.	牌印 PL	取上 参考	調査区	造様・被穴	種別	最大長 (mm)	最大幅 (mm)	最大厚 (mm)	板取り	削様	年輪幅 (mm)	備考
W1	31 73	95-1	2 区	1 層	鳥居板	△14.7	△4.8	0.7	板目材	スギ	1.0mm	一部炭化
W2	36 73	318	2 区	2 層	田下駒	△0.0	△7.1	2.8	板目材	スギ	0.5 ~ 1.5mm	抜り式田下駒
W3	36 73	300	2 区	21a 層以下	桟材	△6.0	2.7	3.0	芯持材	スギ	1.0 ~ 2.0mm	一部炭化が残る
W4	36 73	208	2 区	2 層	刀持?	△11.3	△2.5	1.2	板目材	スギ	0.1 ~ 0.2mm	
W5	36 各種目印 2	212	2 区	2 层	木綿	△6.9	2.4	0.5	板目材	スギ	1.5mm	留青あり
W6	36 73	206	2 区	2 层	形柱 (人柱または高脚柱?)	△13.7	4.3	1.3	板目材	スギ	1.5 ~ 2.0mm	
W7	36 73	196-1	2 区	2 层	桟材	△11.0	3.7	△3.1	芯持材	スギ	1.5mm	
W8	36 76	2494	2 区	2 层	部材	22.3	4.8	1.7	板目材	スギ	3mm	丸孔 2ヶ所あり
W9	41 76	312	2 区	34 漢	部材	△16.5	4.5	1.5	板目材	スギ	4mm	
W10	41 76	220	2 区	35 漢 上層	板材	△14.5	△3.4	1.2	板目材	スギ	0.5 ~ 1.0mm	穿孔 3ヶ所あり
W11	41 76	243	2 区	33 漢 下層(櫛層)	角材	△45.3	△9.5	1.1	板目材	スギ	1.5mm	
W12	41 76	335	2 区	40 漢 中層	板材	△38.8	△23.3	1.6	板目材	スギ	2.5 ~ 3.0mm	丸孔? 建築部材の軸用か
W13	42 74	420	2 区	33a 層	場	32.7	△12.6	6.4	縫木取り	スギ	0.5 ~ 2.0mm	
W14	42 74	425	2 区	33a 層	場	△43.7	△7.7	5.5	縫木取り	スギ	1.0 ~ 2.0mm	
W15	51 77	396	2 区	39 木組み	札	△51.8	5.8	2.7	芯持材	スギ	1.0mm	建築部材の軸用か
W16	51 77	867	2 区	39 木組み	盤?	△41.2	△8.8	0.8	板目材	アカギシ葉属 不明		
W17	51 77	711	2 区	39 木組み	田下駒	△0.7	△5.6	2.6	板目材	スギ	4 ~ 5mm	穿孔 5ヶ所あり 元は建築部材か
W18	51 76	793	2 区	55 漢 帝釋層	角材	△53	△7.5	2.3	板目材	スギ	1.0mm	
W19	51 75	710-1	2 区	39 木組み	平頭	△2	15.6	2.0	板目材	(アカギシ葉属?) —		鈎の左右に穿孔あり
		710-2	2 区	39 木組み	頭掛け	△9.1	△17.3	2.2	板目材	(穿孔?) —		鈎の左に穿孔あり
W20	51 77	497	2 区	39 木組み	板材	△54.3	△14.0	2.2	板目材	スギ	1.0mm	穿孔 3ヶ所あり 建築部材か
W21	51 77	372	2 区	39 木組み	板材	△63.3	△13.4	2.6	板目材	スギ	1.0 ~ 2.0mm	1 道 3mm の方孔あり
W22	51 78	744	2 区	39 木組み	建築部材	△92.7	5.7	5.5	芯持材	アカギシ葉属	5 ~ 10mm	抜りあり
W23	51 78	737	2 区	39 木組み	建築部材	△154.4	7.6	7.6	芯持材	クスノキ材	—	先端に欠込あり。横穿材?
W24	53 74	819	2 区	65 漢 了解	桟材	38.1	8.0	3.2	芯持材	スギ	1.0 ~ 2.0mm	
W25	59 76	482	2 区	39 水路	板材	32.1	27.6	7.8	通板目材	セイノ属	1.5 ~ 4.0mm	裏材か
W26	61 78	319	2 区	39 水路	部材	30.6	2.2	2.5	芯持材	スギ	1.0mm	浮置材に着ぶ離合物の一端として出土。抜り部分に堅材の仕組あり
W27	61 78	765	2 区	39 水路	角	△25.8	△15.7	△3.5	板目材	スギ	1.0mm	
W28	69 78	767	2 区	39 水路 了解	板材	△35.8	△4.6	1.1	板目材	スギ	1.5 ~ 2.0mm	穿孔 3ヶ所あり うち 1ヶ所に内容物残る



An aerial black and white photograph of a coastal landscape. In the upper left, a small, densely forested island sits in a bay. A long, low bridge extends from the island towards the right side of the frame. The coastline curves along the right side, featuring a mix of green forested areas and agricultural fields with distinct rectangular patterns. A winding road or railway line cuts through the fields. In the lower left foreground, there's a parking lot filled with many cars. The sky is overcast with visible clouds.

PLATE





1. 調査区遠景（南西から）



2. 調査区遠景（北東から）

平成  
23年  
度調  
査区



1. 東壁断面北端部  
(南西から)



2. 東壁断面中央部  
(南西から)



3. 東壁断面南端部  
(南西から)

平成23年度調査区



1. 1層上面全景  
(南東から)



2. 1層上面 2溝  
完掘状況 (北東から)



3. 1層下面全景  
(南東から)

平成  
23年  
度調  
査区



1. 1層下面  
11 摂似畦畔 (西から)



2. 3層上面全景  
(南東から)



3. 3層上面 13 畦畔  
完掘状況 (南西から)

平成23年度調査区



1. 3層下面全景  
(南東から)



2. 14盛土状遺構  
弥生土器出土状況  
(東から)



3. 14盛土状遺構除去後  
(南東から)

平成  
23年  
度調  
査区



1. 4層下面全景  
(北西から)



2. 4層下面  
縄文土器出土状況  
(南西から)



3. 5層下面全景  
(南東から)

2  
区

1. 調査区セクション2  
基本層序 2～5層  
(南から)



2. 調査区西壁  
5～8層 (北東から)



3. 調査区東壁 1  
(西から)

2  
区



1. 調査区セクション 3  
基本層序 1～5 層  
39・45 流路（東から）



2. 調査区セクション 1  
基本層序 3～5 層  
39・45 流路（南から）



3. 調査区南壁 1  
基本層序 1～8 層  
(北西から)

2  
区



1. 第1面（上中段）全景（東から）



2. 第1面（下段）全景（南東から）

2  
区



1. 第 2-1a 面（上中段）全景（東から）



2. 第 2-1a 面（下段）全景（南東から）



1. 第2-1a面（上中段）全景（北東から）



2. 29 溝断面状況（南西から）



3. 27 溝断面状況（北西から）



4. 20 溝断面状況（南西から）



5. 24 溝断面状況（南西から）

2  
区



1. 24 溝断面状況（南から）



2. 24 溝断面状況（北東から）



3. 22・25・26 溝断面状況（南西から）



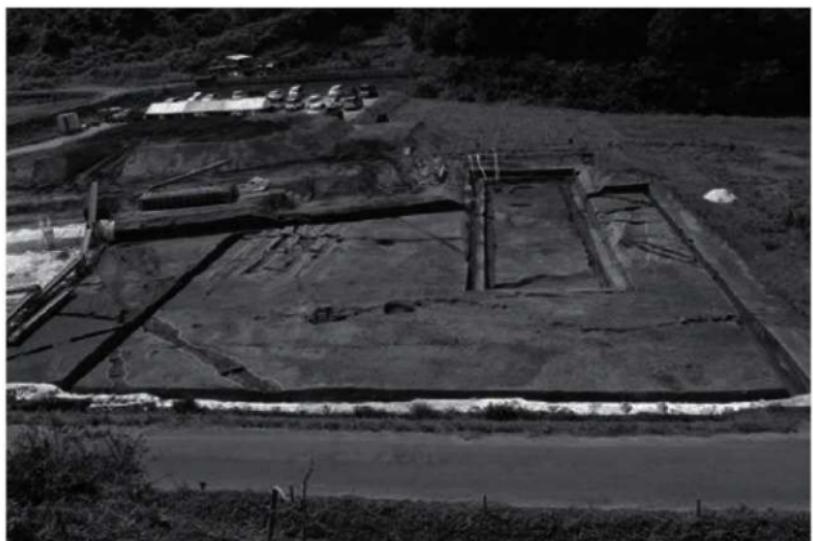
4. 26 溝断面状況（北西から）



5. 2-2a 層下面（上中段）全景（北東から）



1. 第 2-3a 面（上中段）全景（東から）



2. 第 2-3a 面（下段）全景（南東から）

2  
区



1. 40 溝断面状況（南西から）



2. 40 溝遺物出土状況（南西から）



3. 33 溝遺物出土状況（西から）



4.2-3a 層遺物出土状況（南から）



5. 59 木組み検出状況（南西から）

1. 59 木組み下層  
検出状況  
(南東から)



2. 55 溝断面状況  
(北西から)



3. 55 溝完掘状況  
(南東から)



2区



1. 65 溝木組み検出状況  
(東から)



2. 65 溝下層木組み  
検出状況 (南東から)



3. 65 溝完掘状況  
(北東から)



1. 65 满遺物出土状況（南西から）



2. 小溝群検出状況（西から）

3. 39 流路（3層内）  
木道遺構検出状況  
(南東から)4. 39 流路（3層内）  
木道遺構検出状況  
(北東から)

2  
区



1. 第3a面（上中段）全景（東から）



2. 第3a面（下段）全景（南東から）



1. 第4a面（上中段）全景（北東から）



2. 第4a面（下段）全景（南東から）

2  
区



1. 第4a面中段  
ビット集中部  
(北東から)



2. 第4a面下段  
小溝群 (東から)



3. 第4a面下段  
小溝内工具痕跡  
(南東から)



1. 第 3a ~ 4-4b 面  
39 流路断面状況  
(北西から)



2. 第 3a ~ 5a 面  
39 流路断面状況  
(東から)



3. 44 落込み断面状況  
(南から)

2  
区



1. 第5a面（上中段）全景（東から）



2. 第5a面（下段）全景（南東から）



2  
区



1. 第 7-1a 面（上中段）全景（東から）



2. 第 7-1a 面（下段）全景（南東から）

2  
区

1. 60 流路完掘状況  
(北から)



2. 96 溝完掘状況  
(南から)



2. 97 溝断面状況  
(北西から)

2  
区



1. 第8a面（上中段）全景（東から）



1. 第8a面（下段）全景（南東から）



1. 104 溝・105 落込み  
遺物出土状況  
(東から)



2. 104 溝・106 土坑  
遺物出土状況  
(北から)



3. 104 溝断面状況  
(北西から)

2  
区



1. 105 落込み  
遺物出土状況  
(北東から)



2. 105 落込み  
断面状況 (東から)



3. 71 落込み  
完掘状況 (東から)

2



1. 101 流路断面状況（南から）



2. 100・101 流路断面状況（南から）

1  
区



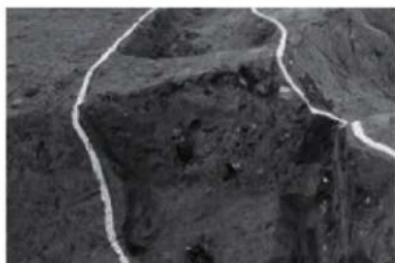
1. 調査区セクション4 断面状況（西から）



2. 第1面全景（南から）

1  
区

1. 第2a面全景（南東から）



2. 1001溝断面状況（北から）



3. 1002溝断面状況（北から）



4. 1016溝完掘状況（北東から）



5. 1014溝断面状況（南から）

1  
区



1. 第3a面全景（南から）



2. 第3a面 1013流路完掘状況（南西から）



1. 第4a面全景（南から）



2. 1018溝断面状況（北から）



3. 1019溝断面状況（北東から）



4. 1021土坑遺物出土状況（西から）



5. 1022擬似畦畔検出状況（東から）

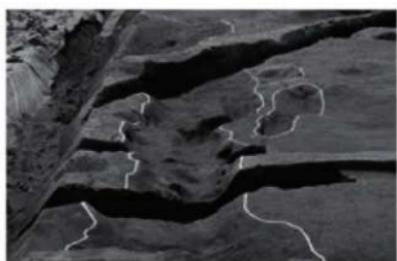
1  
区



1. 1026 溝完掘状況（西から）



2. 1026 溝断面状況（西から）



3. 1027・1028 溝完掘状況（北から）



4. 1029 溝完掘状況（北東から）



5. 1030 流路セクション1 断面状況（北から）



6. 1030 流路セクション2 断面状況（北から）



7. 1031 流路断面状況（北東から）



8. 1025 溝完掘状況（北東から）



1. 第5a面全景（南から）



2. 1029・1033溝断面状況（北西から）



3. 1034溝断面状況（南東から）

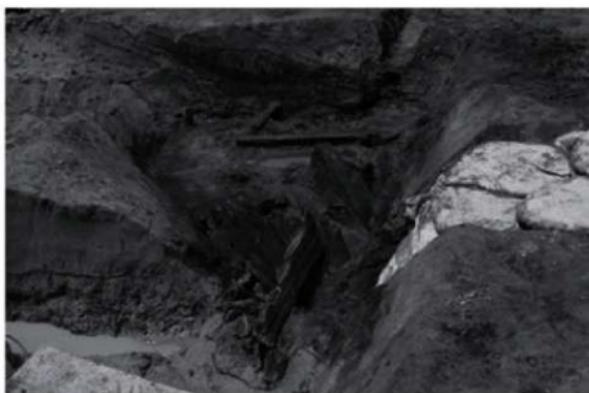


4. 1032溝断面状況（南東から）



5. 1032溝断面状況（北東から）

1  
区



1. 1032 溝木製構造物 1  
検出状況（南東から）



2. 1032 溝木製構造物 1  
検出状況（東から）



3. 1032 溝木製構造物 2  
検出状況（南東から）

1  
区

1. 1032 溝木製構造物 2  
検出状況（南東から）



2. 1032 溝木製構造物 2  
検出状況（南東から）



3. 1070 溝断面状況  
(北西から)

1  
区



1. 1070 溝完掘状況  
(北東から)



2. 1013 流路セクション1  
断面状況 (北から)



3. 1013 流路完掘状況  
(南西から)



1. 第5a面全景（南西から）

1  
区



1. 1071 流路断面状況  
(東から)



2. 1092 掘立柱建物  
完掘状況 (南西から)



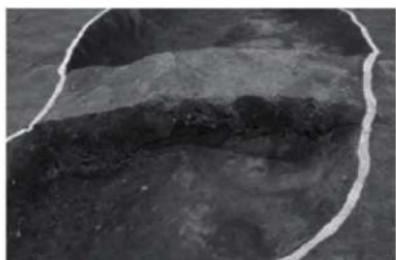
3. 1073 溝断面状況 (南東から)



4. 1072 溝断面状況 (南から)



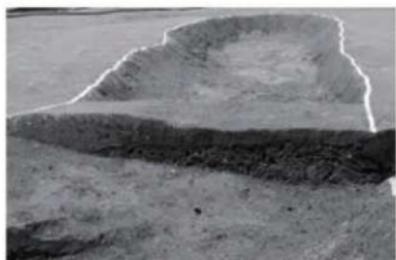
1. 1094・1095 流路完掘状況（南から）



2. 1094 流路セクション1断面状況（南西から）



3. 1094 流路セクション2断面状況（西から）



4. 1095 流路断面状況（南から）



5. 1096 流路断面状況（南東から）

1  
区



1. 1098 ~ 1100 流路完掘状況（南から）



2. 1097 流路完掘状況（北から）



3. 1099 流路セクション 1 断面状況（南西から）



4. 1099 流路セクション 2 断面状況（南西から）



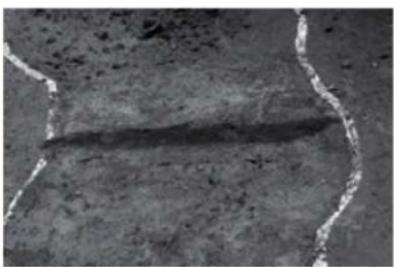
5. 1100 流路断面状況（南から）

1  
区

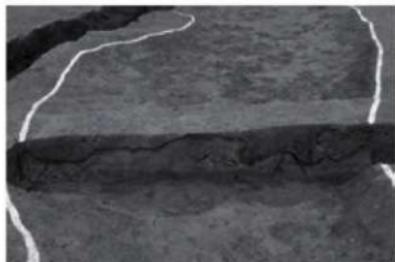
1. 1101～1103 流路完掘状況（南西から）



2. 1101・1103 流路断面状況（南西から）



3. 1101 流路セクション1 断面状況（北西から）

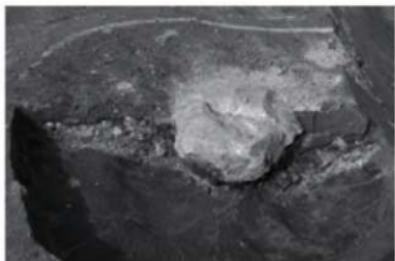


4. 1104 流路セクション1 断面状況（南から）



5. 1104 流路セクション2 断面状況（南西から）

1  
区



1. 1108 土坑断面状況（南西から）



2. 1110 流路セクション1 断面状況（南西から）



3. 1111 流路断面状況（南西から）



4. 第7-1a面全景（南から）

1  
区



1. 1112 流路

セクション 1 断面状況  
(南西から)



2. 1112 流路

セクション 2 断面状況  
(北から)



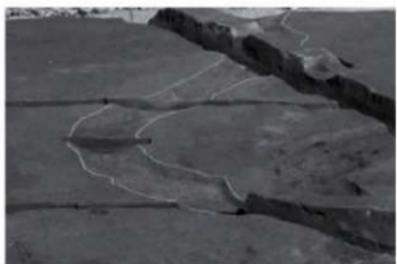
3. 1112 流路下層

断面状況  
(南西から)

1  
区



1. 第7-1a面腐植土検出状況（南西から）



2. 1113流路完掘状況（南から）



3. 1115・1116流路完掘状況（南から）



4. 1117・1118流路完掘状況（南から）



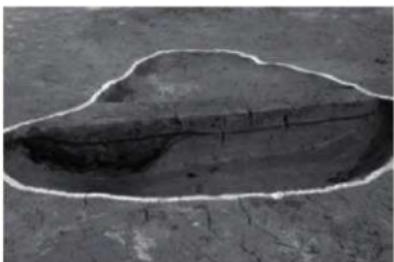
1. 第8a面全景（南西から）



2. 1122 落込み断面状況（南西から）



3. 1123 落込み断面状況（南西から）



4. 1124 落込み断面状況（南西から）

1  
区



1. 1119 流路断面状況  
(南東から)



2. 1120 流路断面状況  
(南から)

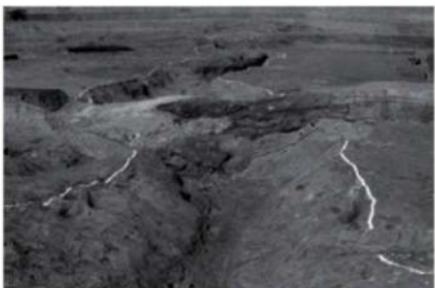


3. 1125・1126 流路  
セクション 1 断面状況  
(南東から)

1  
区



1. 第9a面全景（南から）



2. 1125・1129 流路断面状況  
(南東から)



3. 1128 落込み断面状況  
(南西から)

1  
区



第 10a 面全景（上が北東）

1  
区



1. 1130 流路断面状況  
(南西から)



2. 1131 流路断面状況  
(南西から)



3. 1131・1132 流路  
断面状況 (北西から)



1



2



3

1. 1層ほか出土遺物

2. 14盛土状遺構出土土器



4

3. 4層下面出土土器



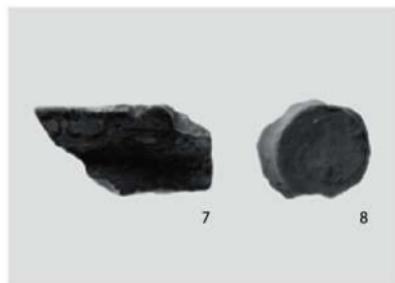
5



6

4. 21溝出土土器

2



1. 1層出土土器



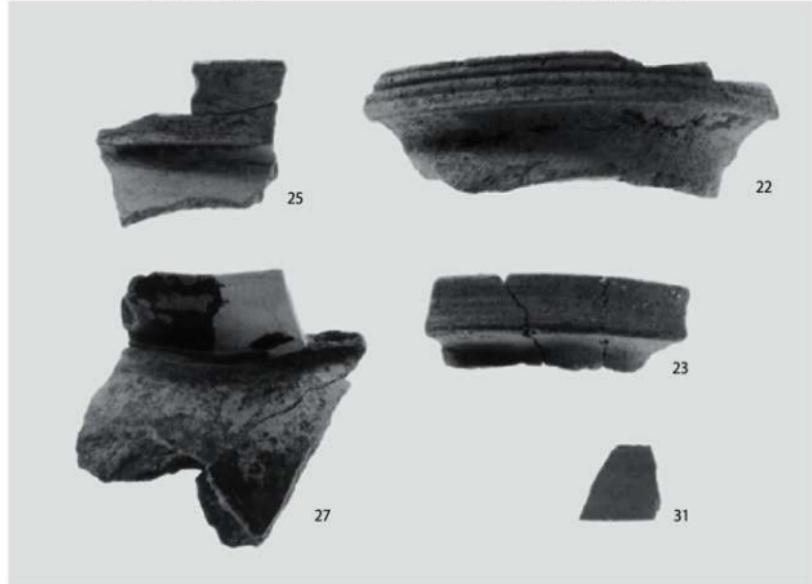
2. 24溝出土土器



3. 2層出土土器



4. 2層出土土器

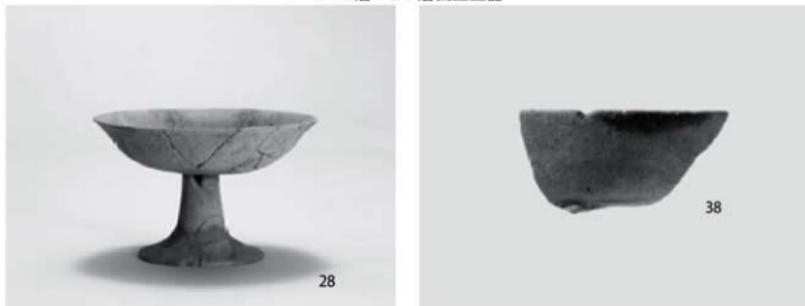


5. 2層・2-2層出土遺物

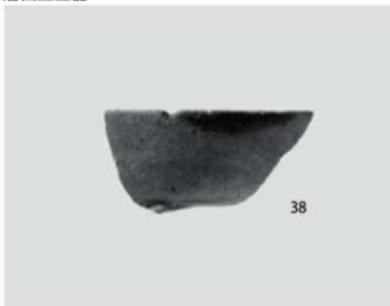
2  
区



1. 2層・2-2層出土土器



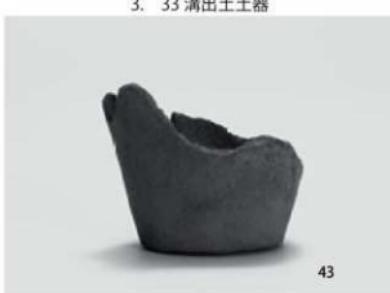
2. 2層出土土器



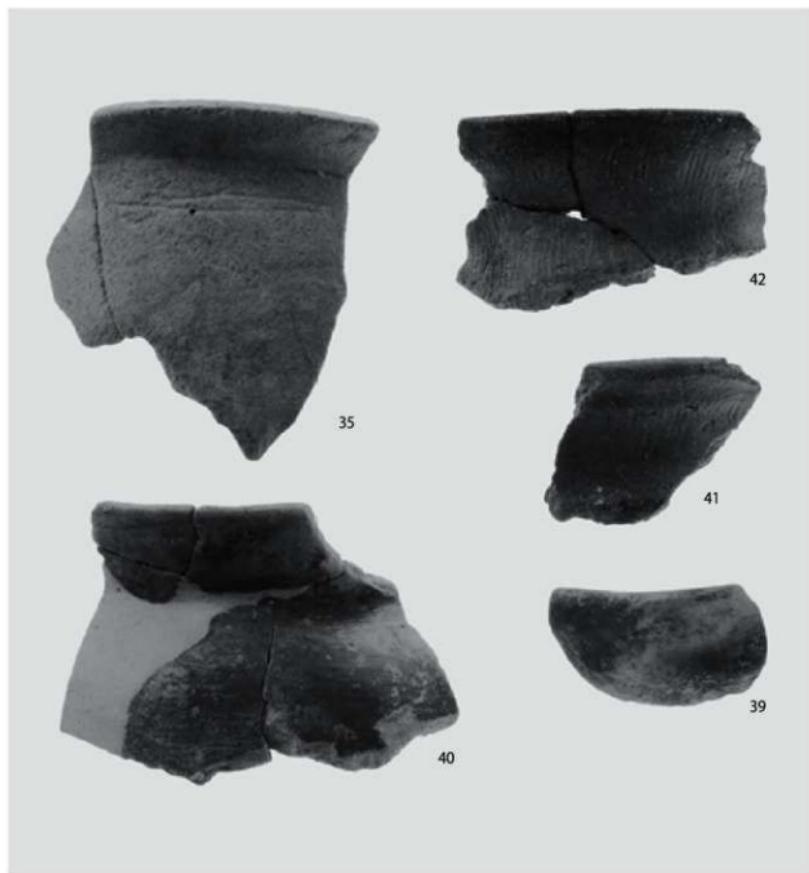
3. 33溝出土土器



4. 33溝出土土器



5. 33溝出土土器



1. 第2-3a面遺構出土土器



2. 55溝・59木組み出土土器

2  
区



1. 40 溝出土土器



2. 65 溝出土土器



3. 65 溝出土土器

2  
区

1. 56 溝・92 土坑出土土器



2. 第 3a 面 39 流路出土土器



3. 3a 層出土土器

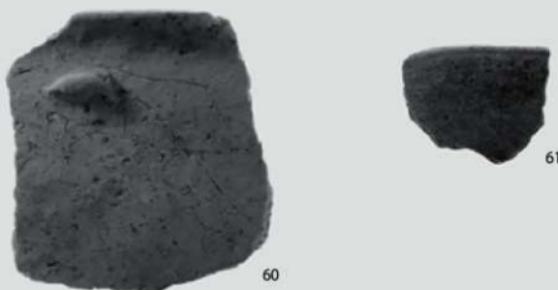


4. 66 溝出土土器



5. 70 落込み出土土器

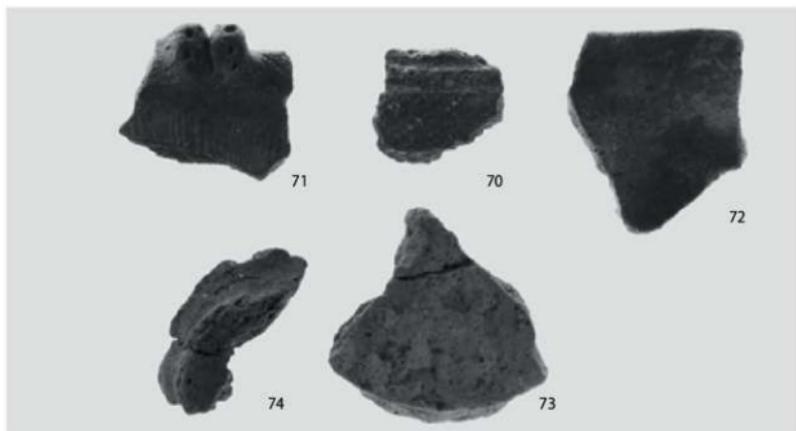
2  
区



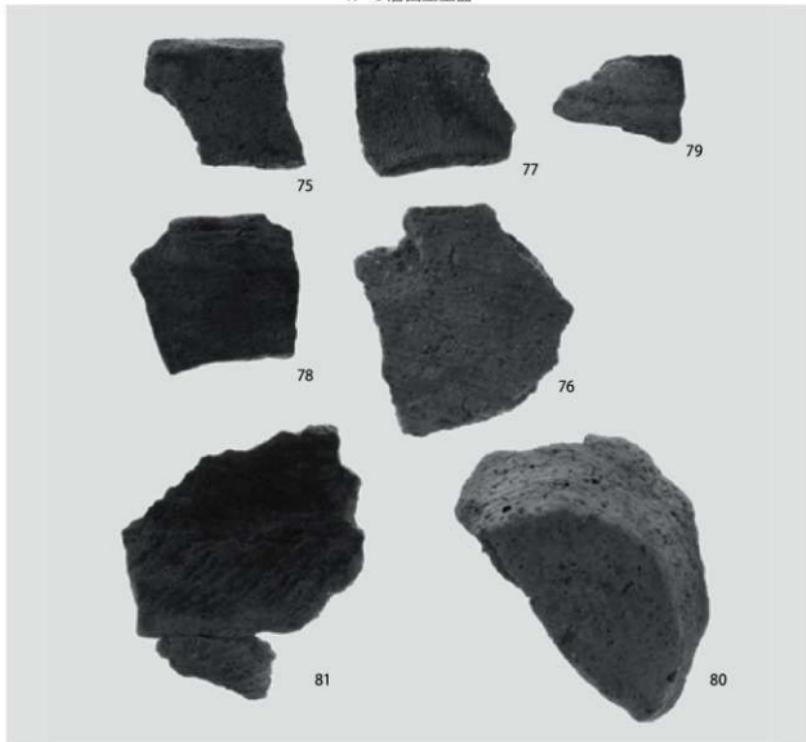
1. 第4-4b面39流路・91満出土土器



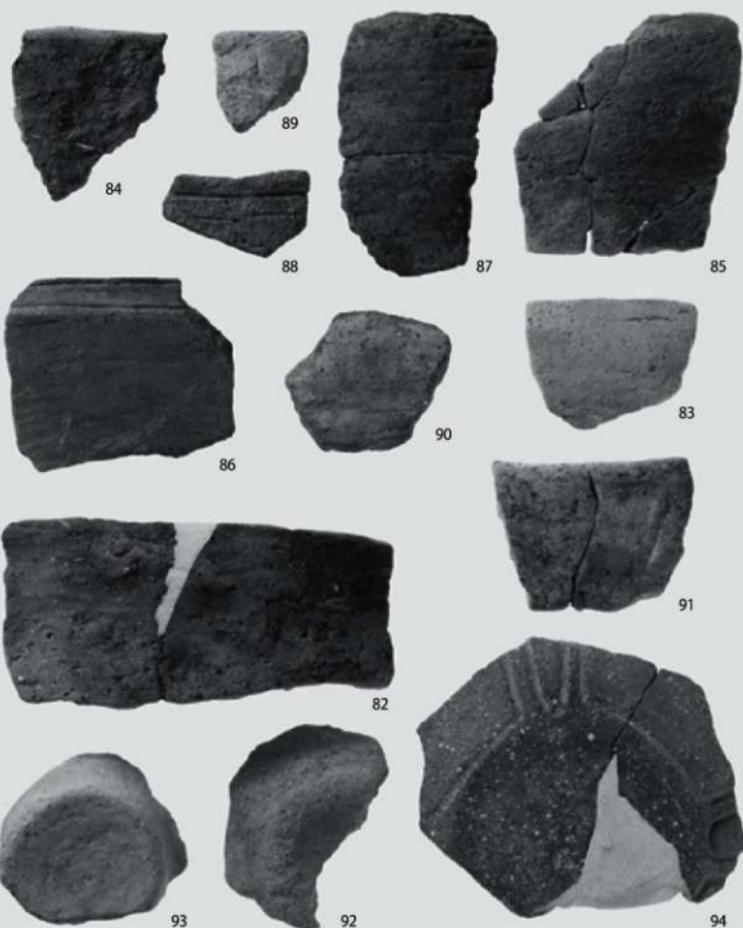
2. 45流路出土土器

2  
区

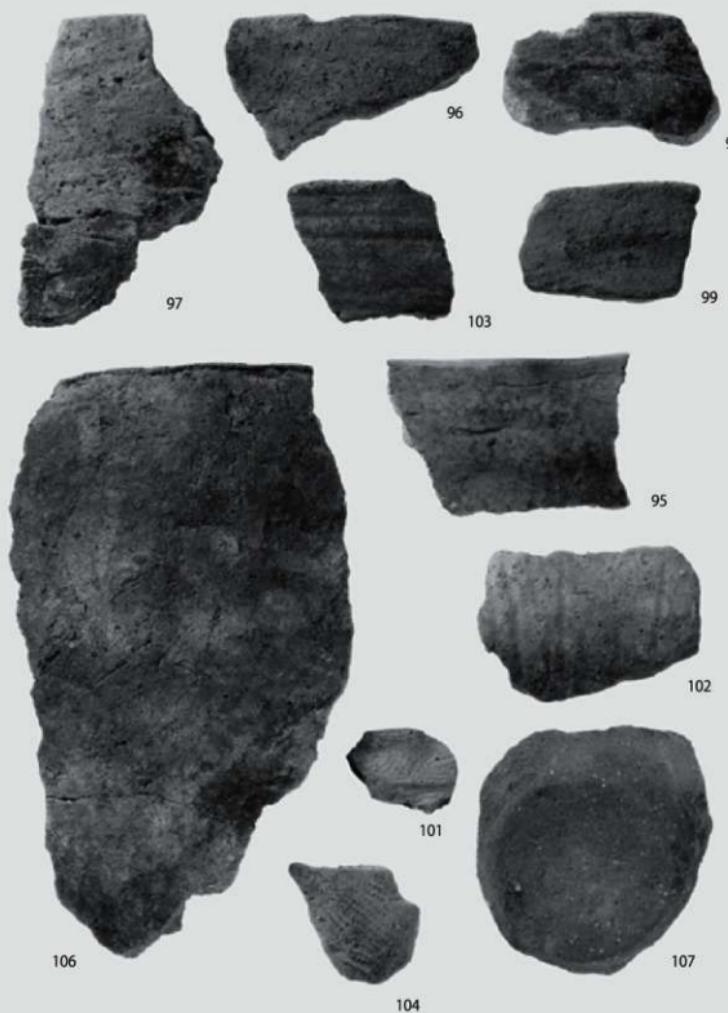
1. 6 層出土土器



2. 93 流路・95・98・99 溝出土土器

2  
区

7 層出土土器



100 流路出土土器

2  
区



100



105

1. 100 流路出土土器



109

3. 104 溝出土土器



113

4. 106 土坑出土土器



118

5. 105 落込み出土土器

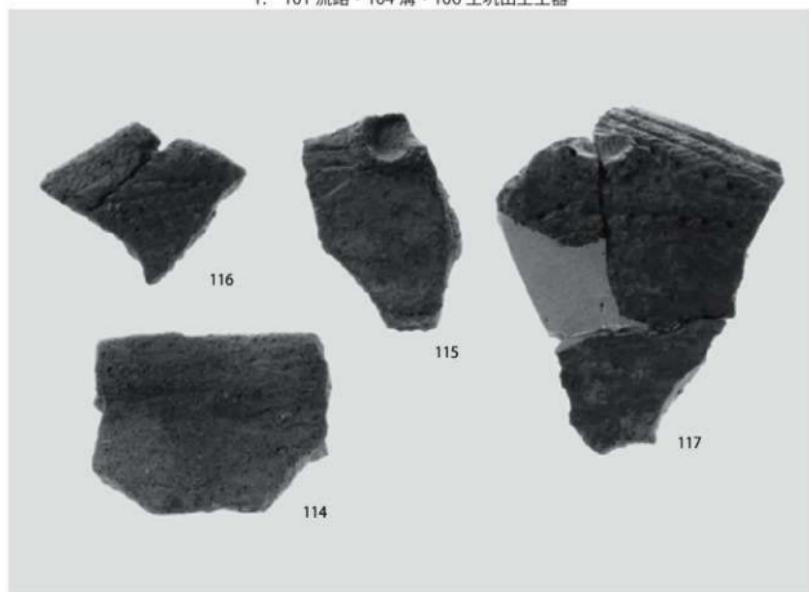


119

6. 105 落込み出土土器

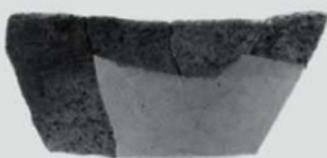
2  
区

1. 101 流路・104 溝・106 土坑出土土器



2. 105 落込み出土土器

2  
区



126



122

1. 71 落込み出土土器



120



121



127



124



123



125



129



130



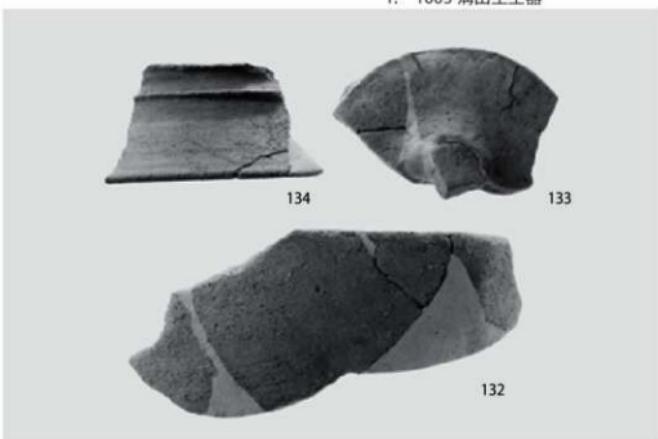
128

3. 71 落込み出土土器

1  
区

131

1. 1005 满出土土器

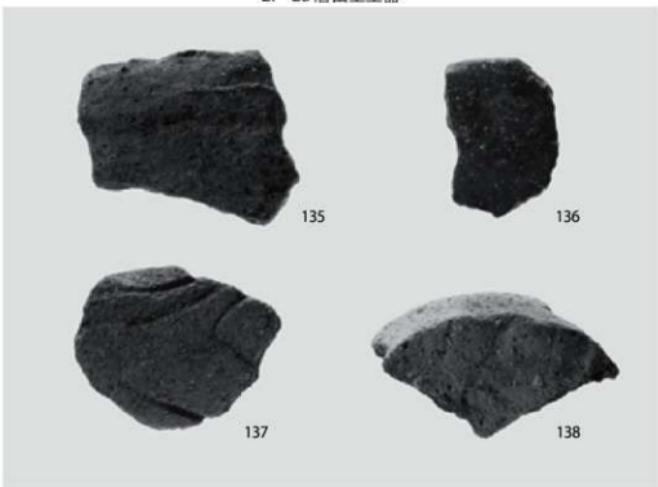


132



133

2. 2a 層出土土器



134

135

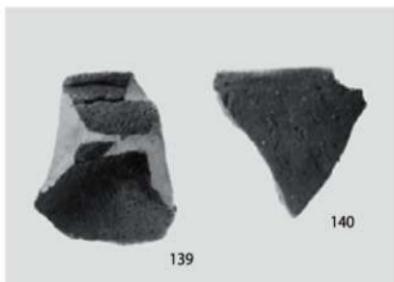
136

137

138

3. 1071 流路出土土器

1  
区



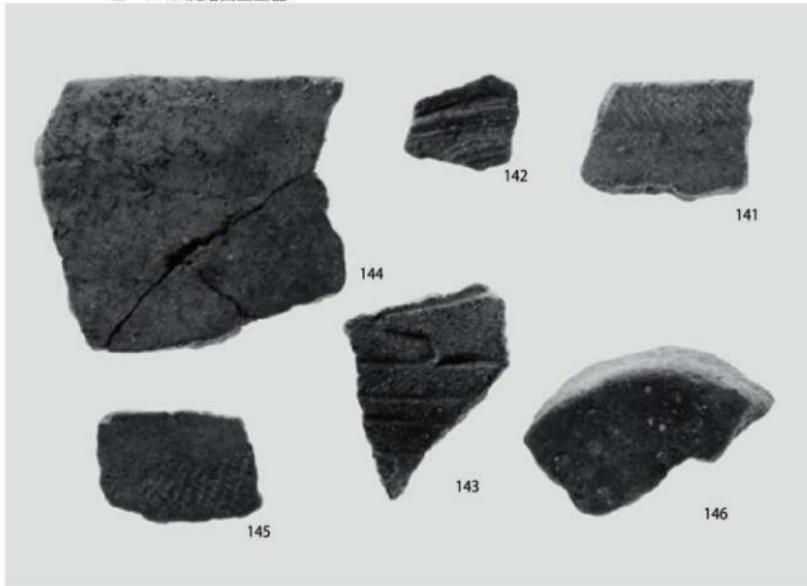
1. 6b 層出土土器



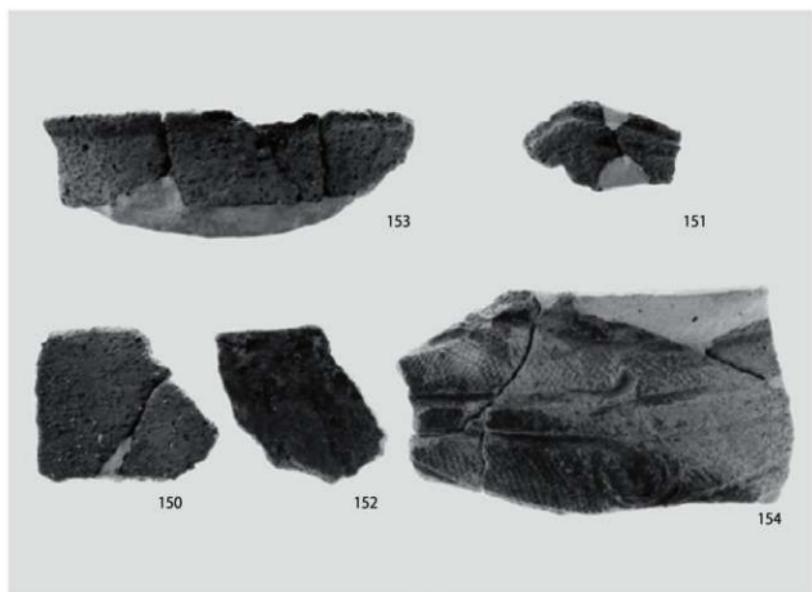
3. 8 層出土土器



2. 1119 流路出土土器



4. 1093 (4) 流路出土土器

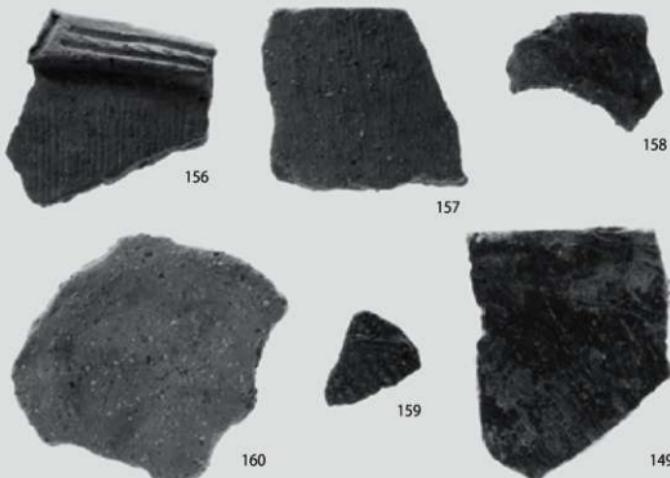
1  
区

1. 8 層出土土器



2. 8 層出土土器

1  
区

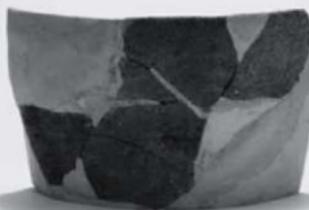


1. 1125 流路・8 層出土土器



161

2. 1125 流路出土土器



162

3. 9 層出土土器

1  
区

164



163



165

## 1. 9 層出土土器



168



166



167



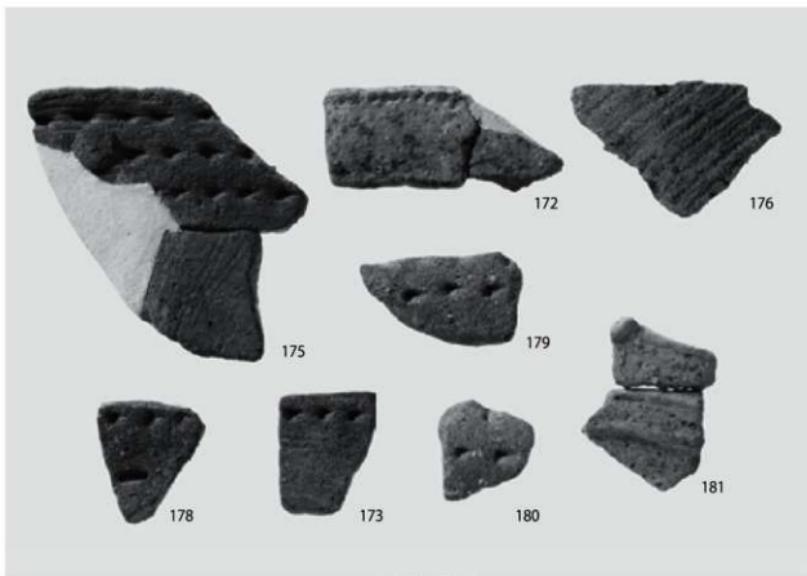
170



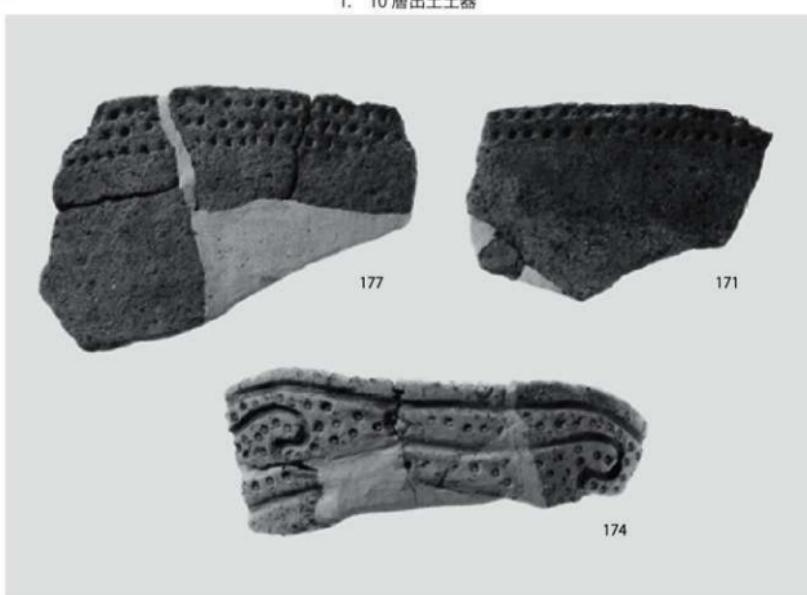
169

## 2. 1130 流路出土土器

1  
区



1. 10 層出土土器



2. 10 層出土土器



1. 12 層出土土器

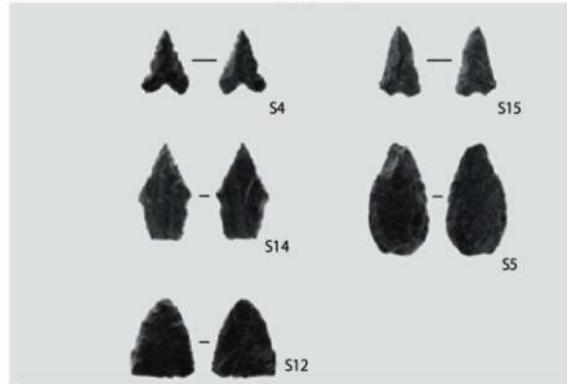


取上番号 71

2. 銅錢



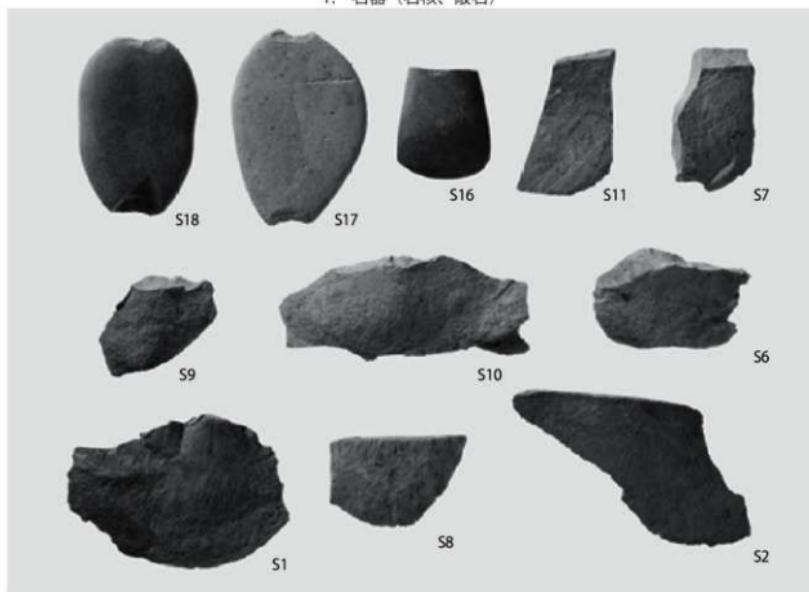
3. 土製品（土錘）



4. 石器（石鏃）



1. 石器（石核、敲石）



2. 石器（石锤、磨制石斧、剥片）



W1



W2

1. 1層出土木製品



W4

3. 2-2a層出土木製品



W3

4. 2-2a層出土木製品



W24

1. 65 溝出土木製品



W6

2. 2 層出土木製品



W13

W14

3. 2-3a 層出土木製品



1. 直柄平鋤

W19



2. 直柄平鋤

W19



3. 泥除

W19



4. 泥除

W19



5. 泥除付直柄平鋤（装着）

W19



6. 泥除付直柄平鋤（装着部侧面拡大）

W19



1. 55 溝出土木製品



2. 33・34 構出土木製品



3. 39 流路出土木製品



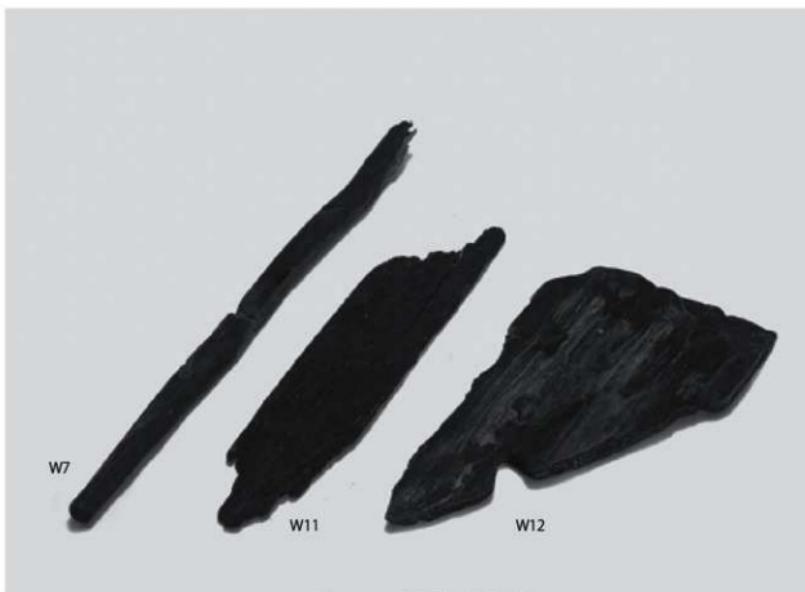
4. 2 層出土田下駄



1. 59 木組み出土田下駄



2. 59 木組み出土大型木製品



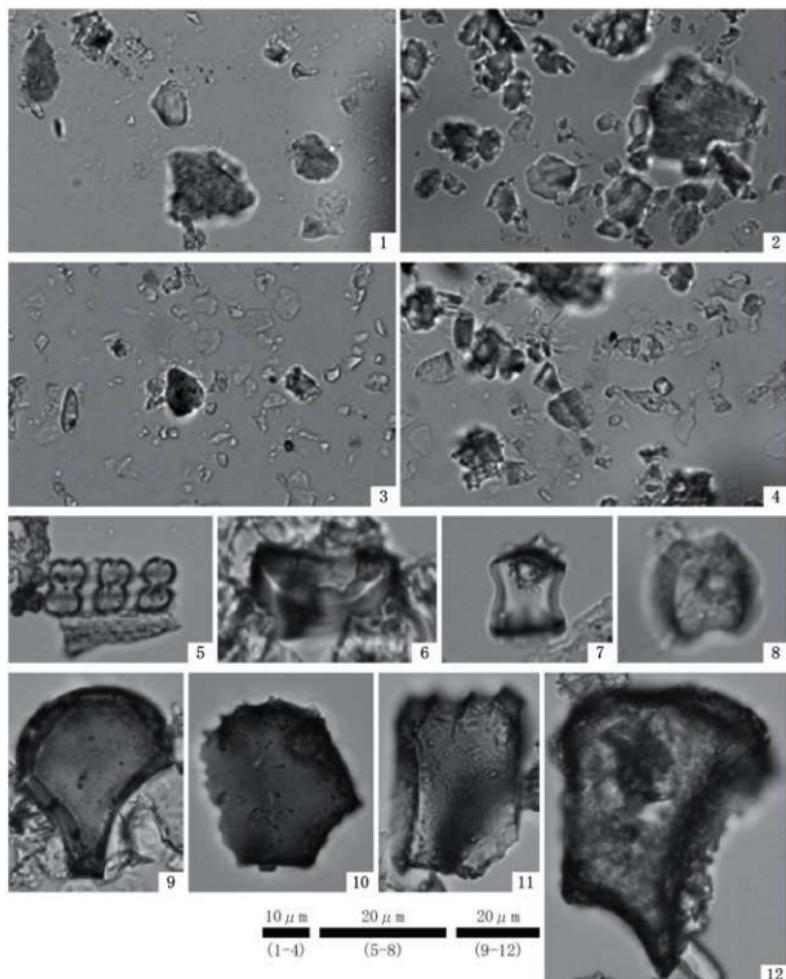
1. 2層・33・34溝出土大型木製品



2. 59木組み出土大型木製品

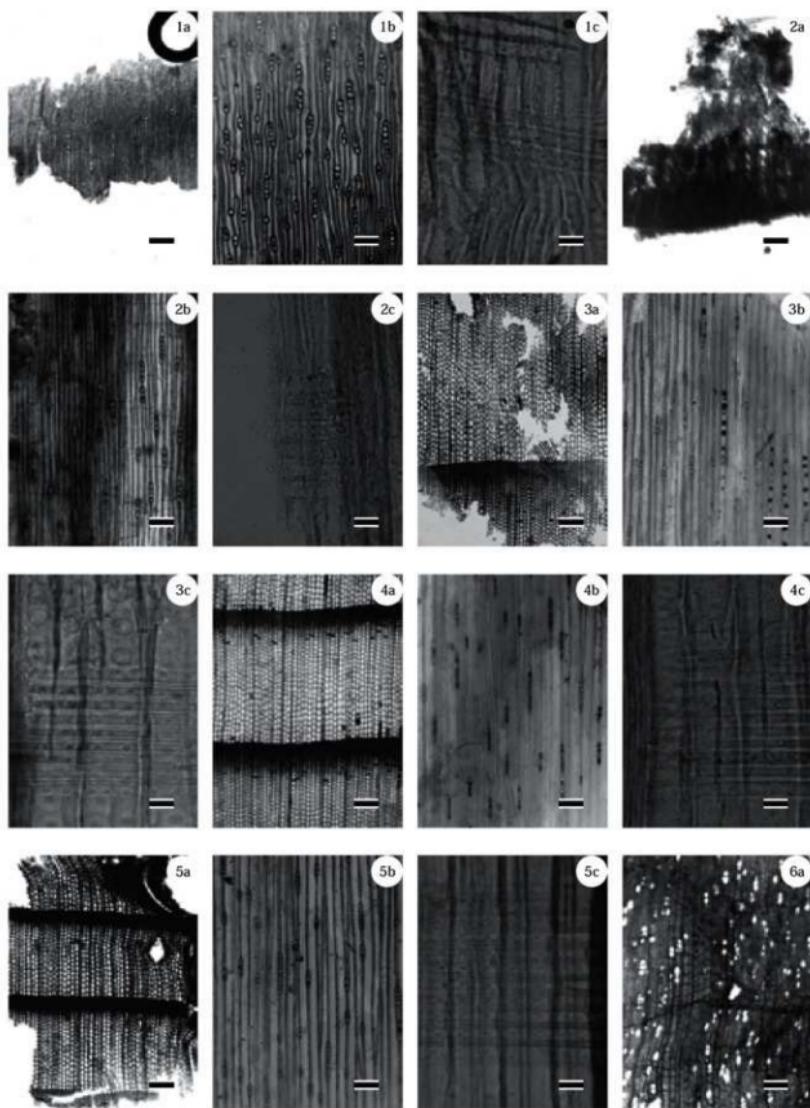


3. 39流路出土大型木製品



1. 珪藻化石分析プレパラート内の状況(2区;5a層)
2. 珪藻化石分析プレパラート内の状況(2区;5b層)
3. 珪藻化石分析プレパラート内の状況(2区;7a層)
4. 珪藻化石分析プレパラート内の状況(2区;8a層)
5. イネ属短細胞列(2区;1層)
6. クマザサ属短細胞珪酸体(2区;1層)
7. メダケ属短細胞珪酸体(2区;1層)
8. ヨシ属短細胞珪酸体(2区;1層)
9. イネ属機動細胞珪酸体(2区;1層)
10. クマザサ属機動細胞珪酸体(2区;1層)
11. メダケ属機動細胞珪酸体(2区;1層)
12. ヨシ属機動細胞珪酸体(2区;1層)

珪藻化石分析プレパラート内の状況・植物珪酸体

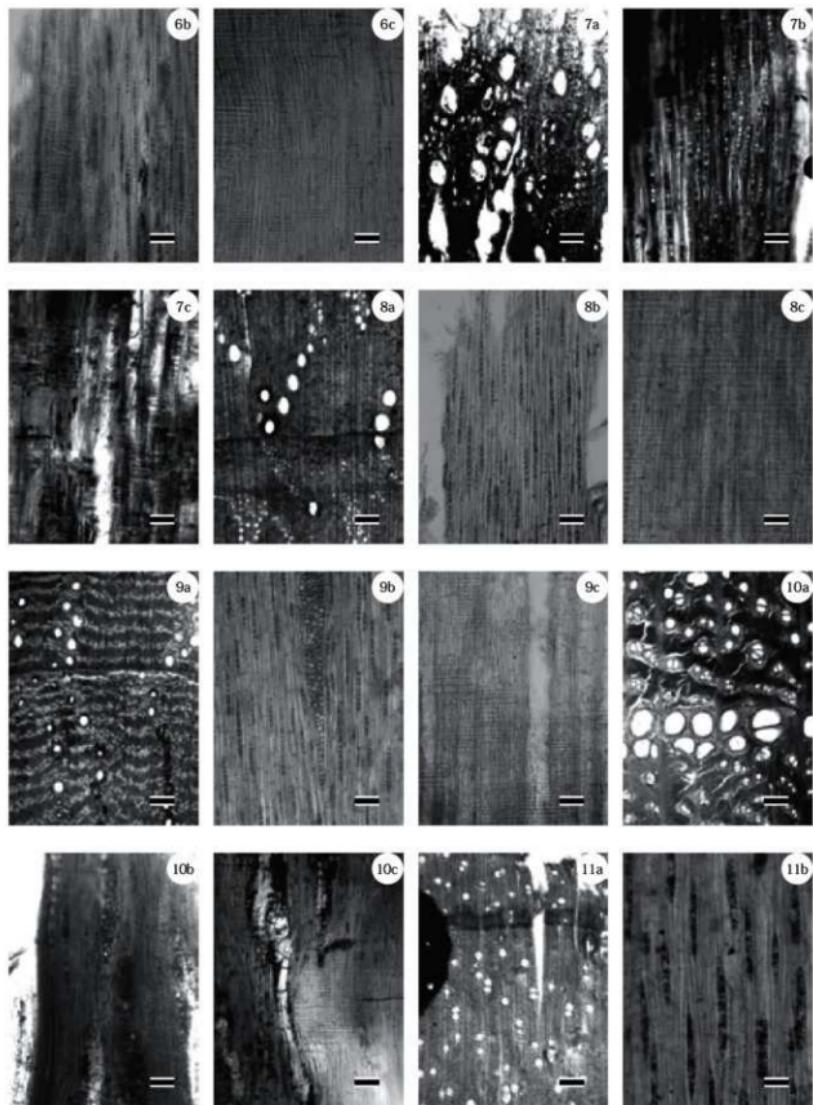


1a-1c.イヌガヤ(No.60)、2a-2c.モミ属(No.82)、3a-3c.スギ(No.2)、4a-4c.スギ(No.33)、5a-5c.スギ(No.66)、

6a.クマシデ属イヌシデ節(No.34)

a:横断面(スケール=250 μm)、b:接線断面(スケール=100 μm)、c:放射断面(スケール=25 μm)

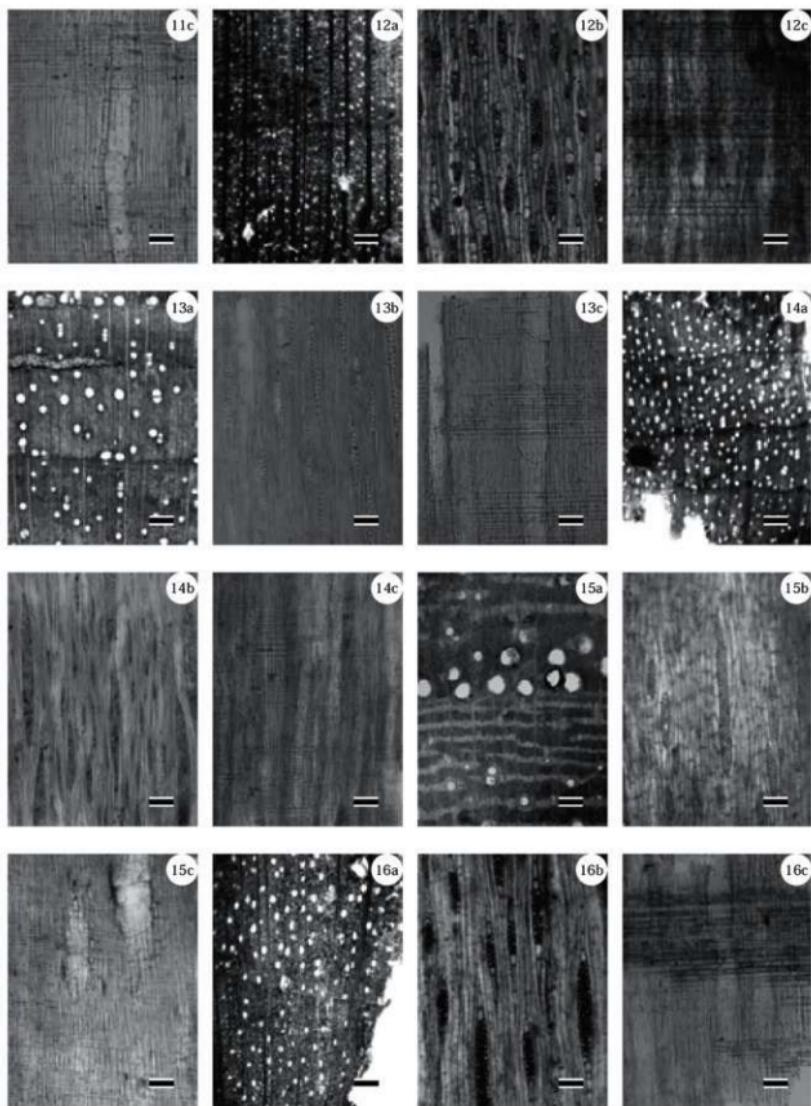
良田中道遺跡出土木材の光学顕微鏡写真 (1)



6b-6c.ケマシデ属イヌシデ節(No.34)、7a-7c.スダジイ(No.26)、8a-8c.ツブラジイ(No.18)、9a-9c.コナラ属アカガシ亜属(No.29)、  
10a-10c.クワ属(No.23)、11a-11b.クスノキ科(No.36)

a:横断面(スケール=250 μm)、b:接線断面(スケール=100 μm)、c:放射断面(スケール=100 μm)

良田中道遺跡出土木材の光学顕微鏡写真 (2)



11c.クスノキ科(No.36), 12a-12c.ツバキ(No.55), 13a-13c.ヤマハゼ(No.41), 14a-14c.カエデ属(No.85),

15a-15c.ムクロジ(No.43), 16a-16c.リョウブ(No.42)

a:横断面(スケール=250 μm), b:接線断面(スケール=100 μm), c:放射断面(スケール=100 μm)

## 報告書抄録

---

一般国道9号(鳥取西道路)の改築に伴う

埋蔵文化財発掘調査報告書 XVII

鳥取県鳥取市

## 良田中道遺跡

発行 2015年3月23日

編集 公益財團法人鳥取県教育文化財団調査室

発行者 鳥取県教育委員会

〒680-8570

鳥取県鳥取市東町一丁目271番地

電話(0857)26-7525

印刷 日ノ丸印刷株式会社

---